

16

出力とメディアへの書き込み

各資料の登録やエラーチェック、修正が終わったら [電子納品ツール] プログラムから出力をおこないます。

[電子納品ツール] プログラムからCDやDVDなどのメディアへの書き込みは、『パソコン内への成果フォルダ出力』と、『メディアへの書き込み』の2段階でおこなわれます。

「16-1 出力とメディアへの書き込み」では、この2つを連続して連続しておこなう方法を説明します。

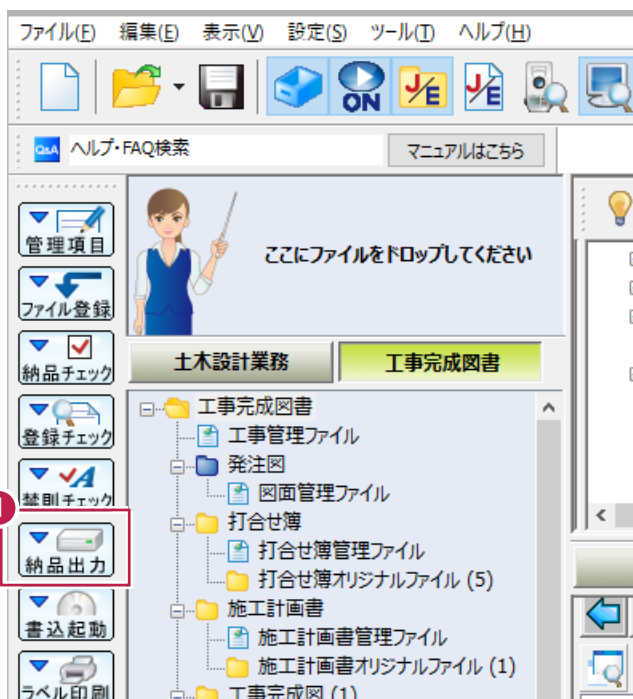
16-1 出力とメディアへの書き込み

ここでは [電子納品ツール] プログラムから

『パソコン内への出力』と『CDやDVDなどへのメディア書き込み』を連続しておこなう方法を説明します。

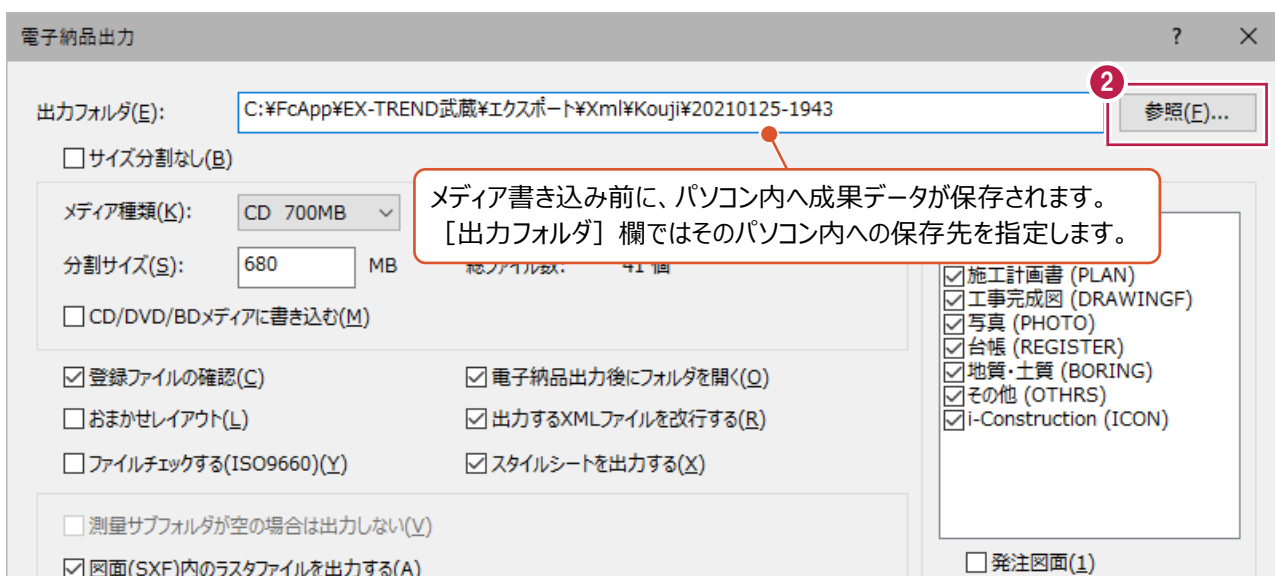
出力時に、パソコン内への出力先や出力対象とするフォルダ、ビューア添付の有無などを設定します。

① 画面左の [納品出力] をクリックします。



② まず [出力フォルダ] 欄でパソコン内への出力先のフォルダを確認・変更します。

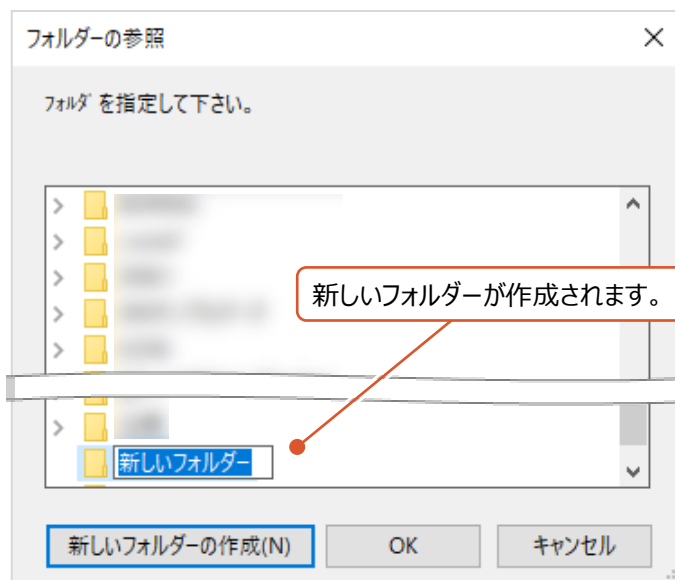
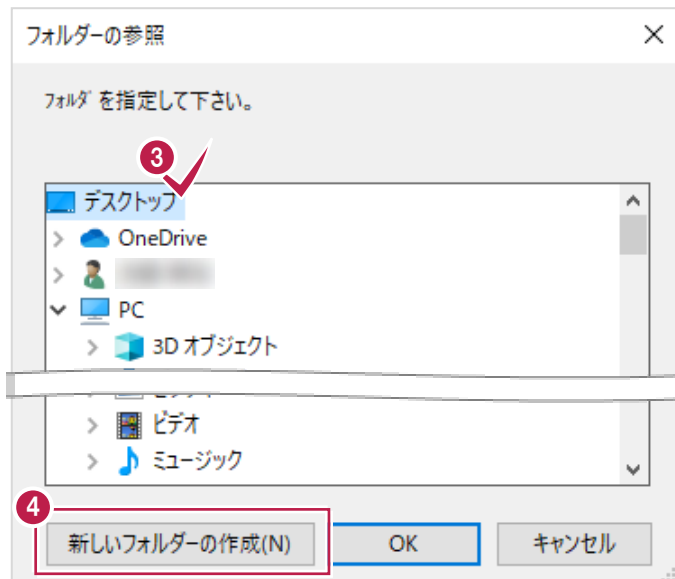
[参照] をクリックします。



- ③ デスクトップに出力先となるフォルダを作成します。

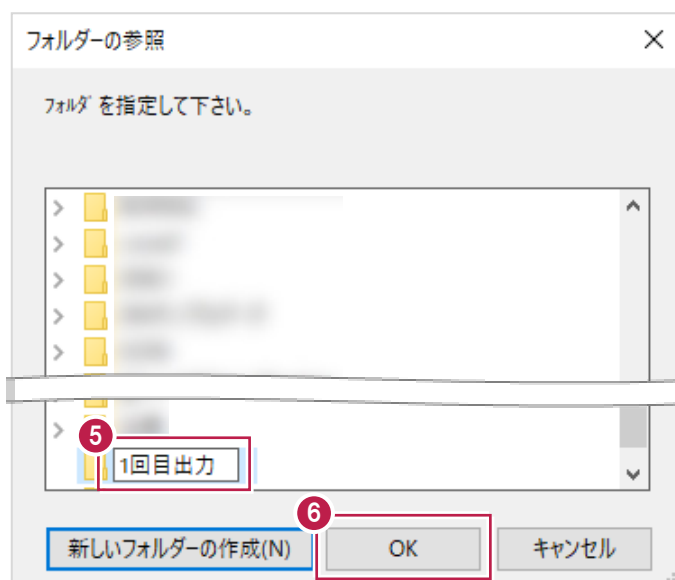
[フォルダーの参照] 画面のツリーから [デスクトップ] をクリックします。

- ④ [新しいフォルダーの作成] をクリックします。



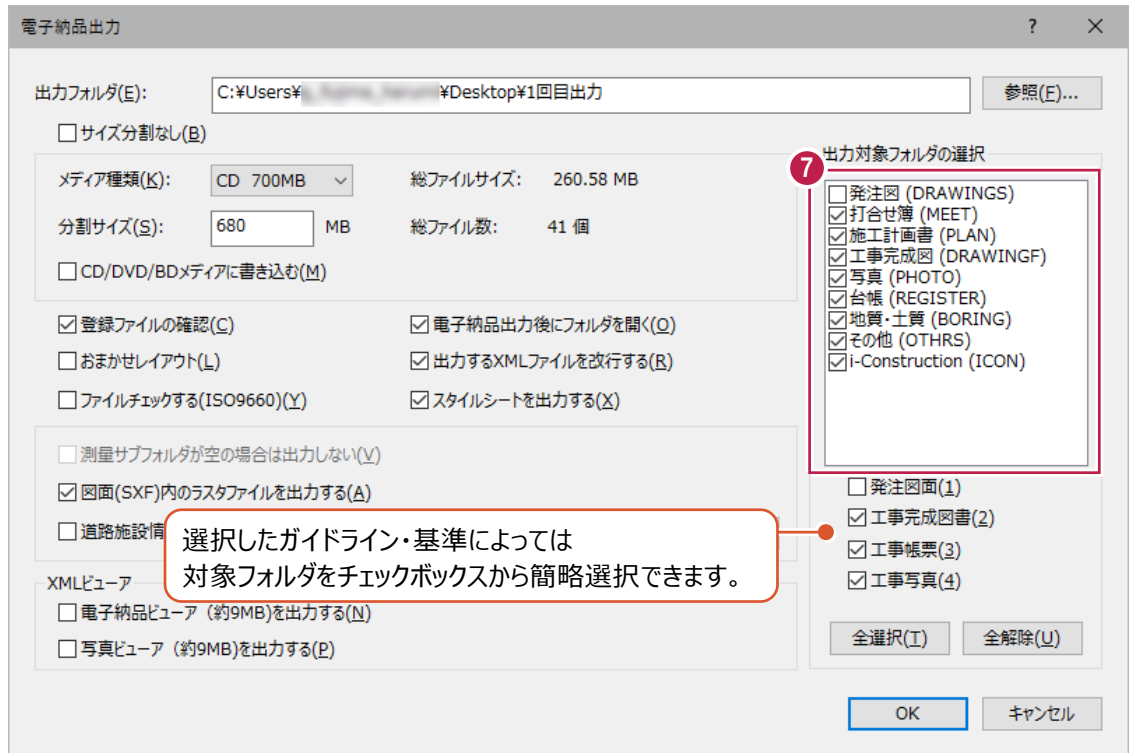
- ⑤ 作成されたフォルダの名称を変更します。
ここでは、キーボードで「1 回目出力」と文字入力します。

- ⑥ [OK] をクリックします。



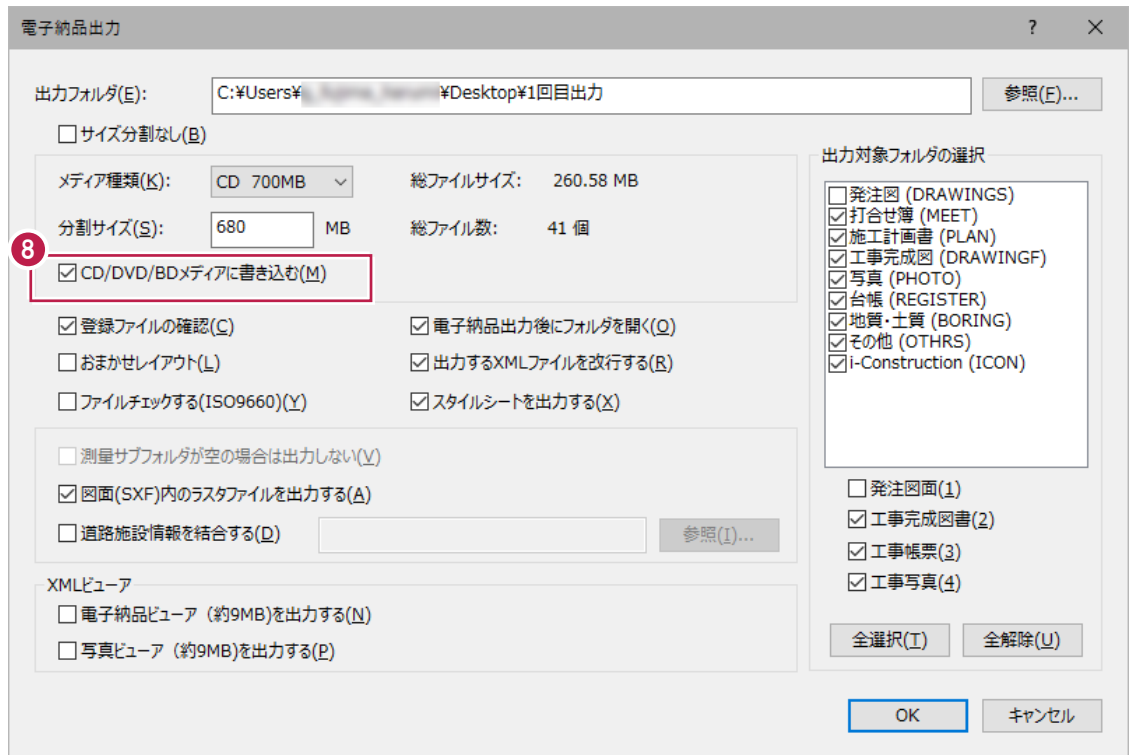
7 [出力対象フォルダの選択] 欄を設定します。

ここでオンにしたフォルダのみ出力されます。

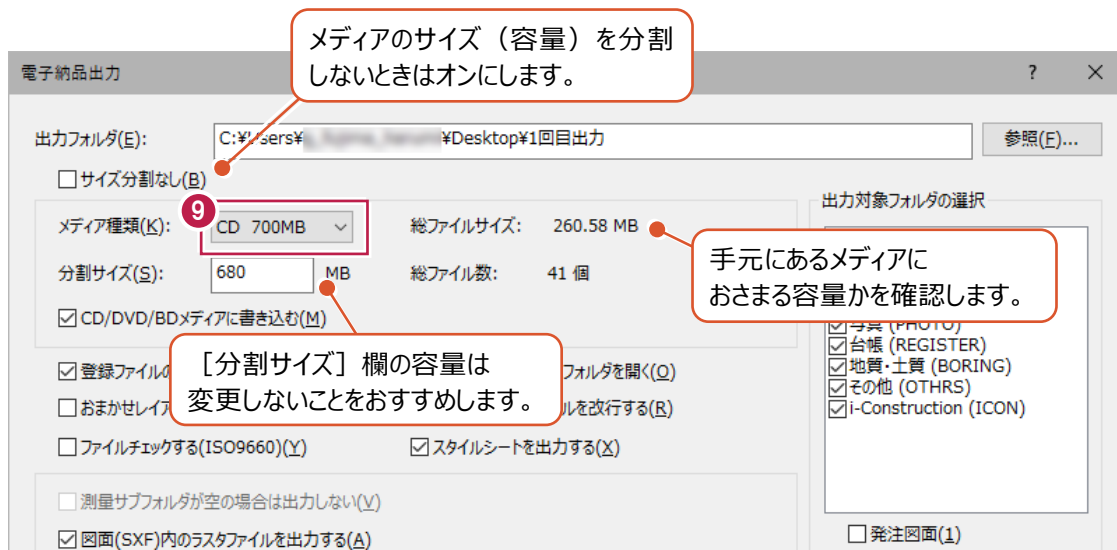


8 [CD/DVD/BD メディアに書き込む] のチェックボックスをオンにします。

オンにすることにより、パソコン内へのデータ保存とメディアへの書き込みが連続しておこなわれます。

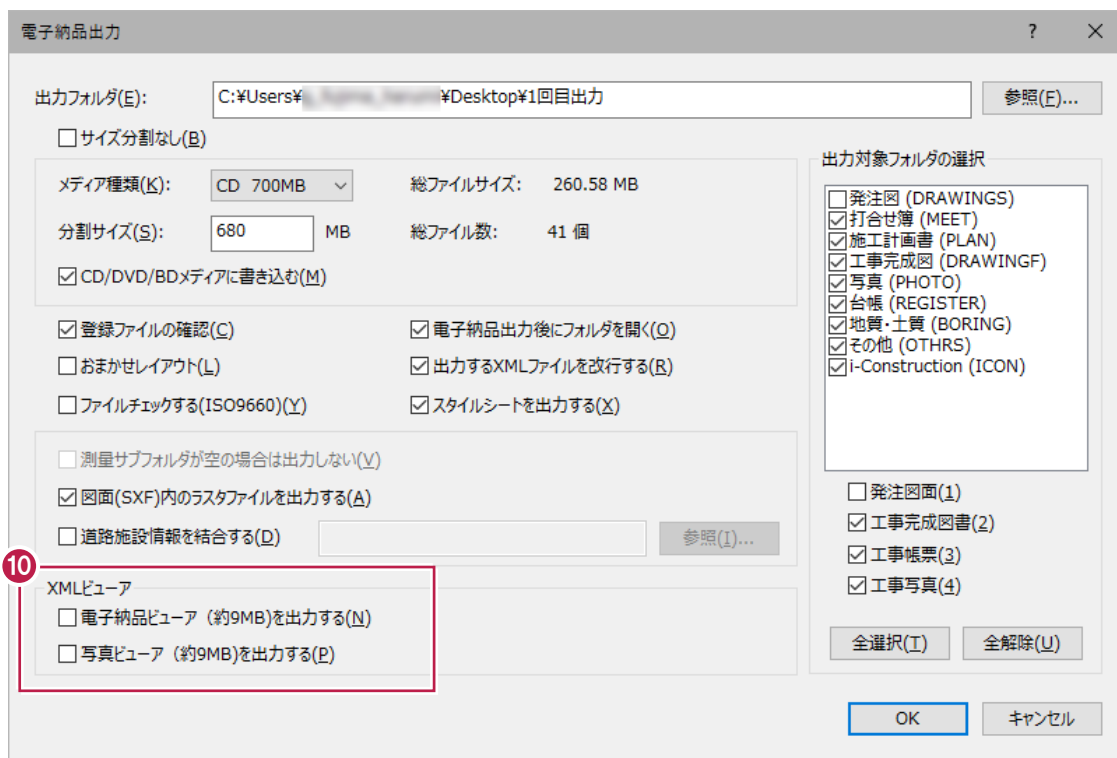


- 9 [総ファイルサイズ] の容量を確認後、
[メディア種類] 欄で書き込むメディアの種類を選択します。

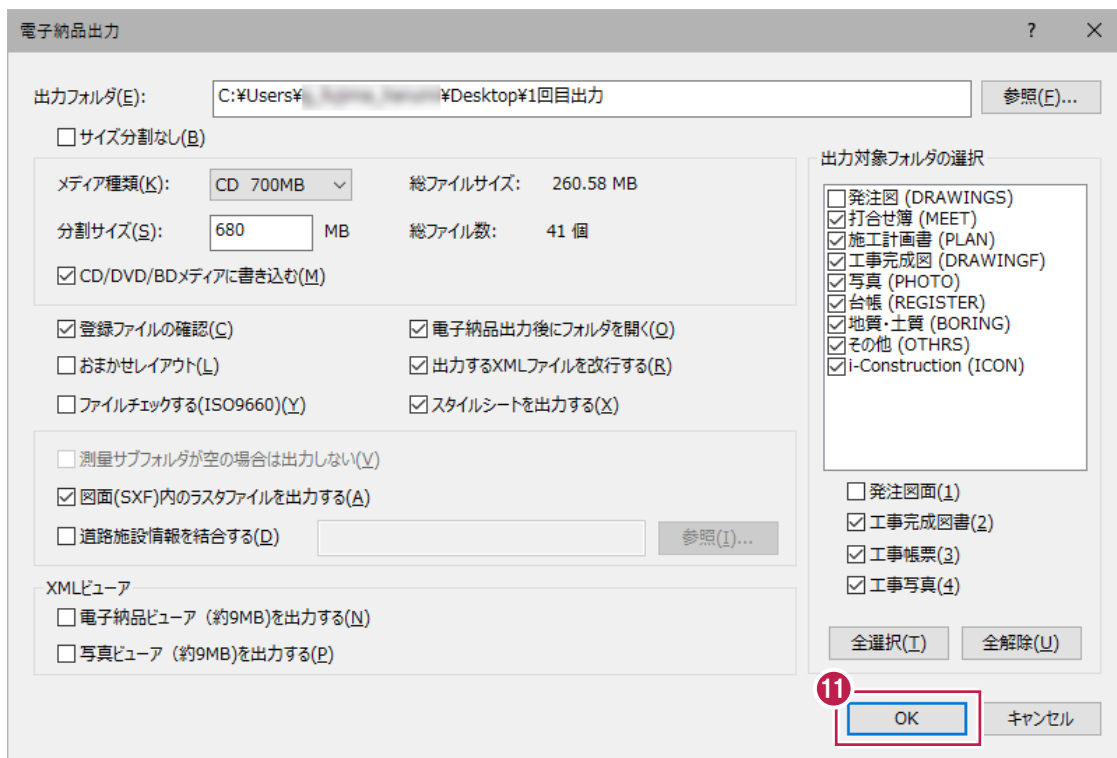


- 10 [XMLビューア] 以下の
[電子納品ビューアを出力する] と、
[写真ビューアを出力する] の
両チェックボックスを確認・設定します。

オンにすると、それぞれのビューアが成果データ内に添付されます。

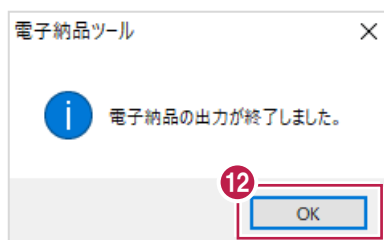


- 11 各設定が終わったら [OK] をクリックします。



- 12 [OK] をクリックします。

ここでの『出力が終了』とは、
『パソコン内への成果出力が終了した』ことを
意味しています。



- 13 書き込みをおこなうメディアを
パソコンにセットします。

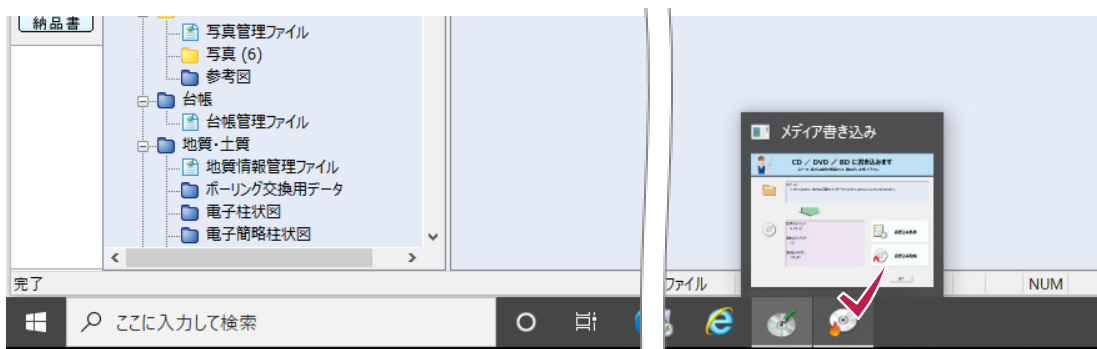
※ プログラム上での操作ではなく、
実際にメディアをパソコンの
CD/DVD ドライブなどにセットします。



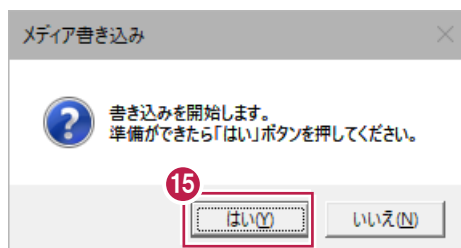
- 14 [メディア書き込み] 画面の
[書き込み開始] をクリックします。



[メディア書き込み] 画面が表示されていない場合は、タスクバーからアイコンをクリックして表示させます。
(『起動はしているが、別の画面の裏側になってしまっている』可能性があります。)

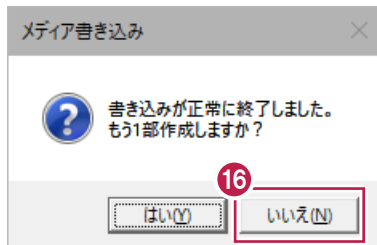


- 15 [はい] をクリックします。



- 16 書き込みが終わると、メディアがパソコンから自動で取り出されます。書き込みを終わるため、[いいえ] をクリックします。

(正副 2 部のメディアが必要な場合は [はい] をクリックして「13」から「15」までの操作を繰り返します。)



- 17 書き込み作業を終わるため [終了] をクリックします。



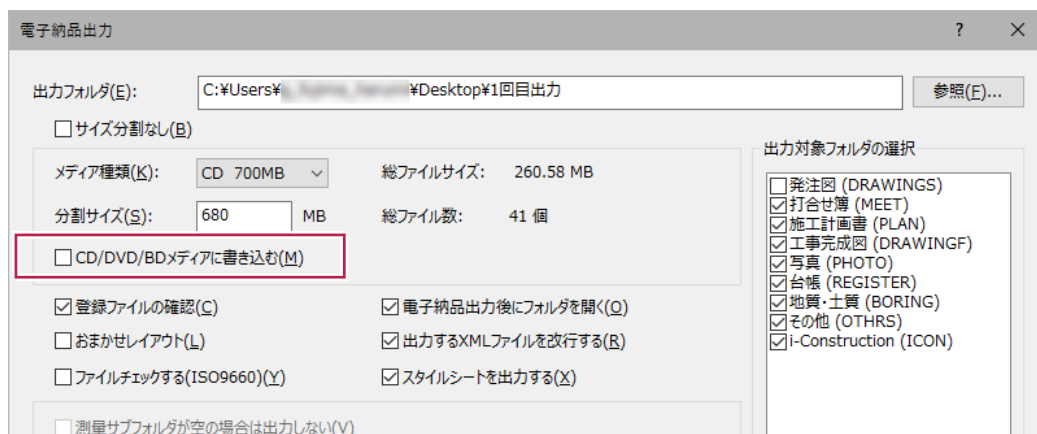
パソコン内への出力と、メディアへの書き込み作業はこれで終わりです。

補足

『パソコン内への出力のみ』をおこないたい場合について

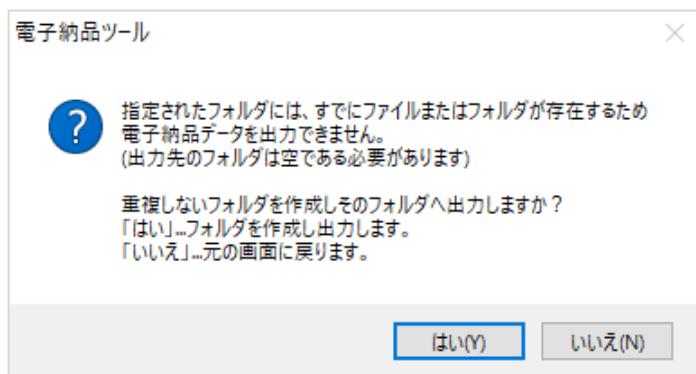
『メディアへの書き込み前に、電子納品チェックシステムでチェックしておきたい』場合などは、パソコン内への出力のみをおこなうことができます。

その場合は [電子納品出力] 画面で [CD/DVD/BDメディアに書き込む] のチェックボックスをオフにしてください。



補足⁺

「指定されたフォルダには、すでにファイルまたはフォルダが存在するため
電子納品データを出力できません。」のメッセージについて



このメッセージは、[出力フォルダ] 欄に設定した出力先フォルダが、空ではない場合に表示されるメッセージです。
[はい] をクリックして、[電子納品ツール] プログラムに新しいフォルダを自動作成させ、先にすすめることもできますが、
出力先の確認を含め、一旦 [いいえ] をクリックして、空のフォルダを指定しなおすことをおすすめします。

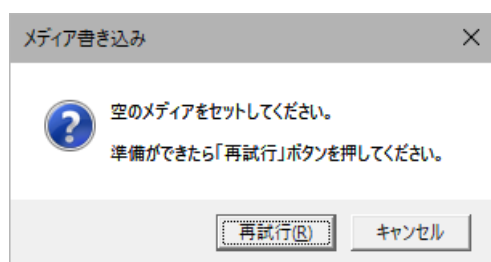
以下はこのメッセージが表示される理由などです。

電子納品成果は、英数字のフォルダやXML、写真、図面などの各ファイルから構成されますが、それら全てで1セットです。
そのため、既に出力してある各フォルダ・データを一括して「上書き保存（更新）」することはパソコンの動き上できません。
(例えば、写真枚数を減らした成果データを作り直す場合、フォルダごと「上書き（更新）」しようとしても、
「同じ名前のファイルを上書き保存」はできても、「差分の写真を自動削除」することはできません。)

なお、上記のメッセージの [はい] をクリックして進めた場合、
自動作成されるフォルダ名は、元のフォルダ名に「～1」を足したものです。

補足⁺

「空のメディアをセットしてください。」のメッセージについて

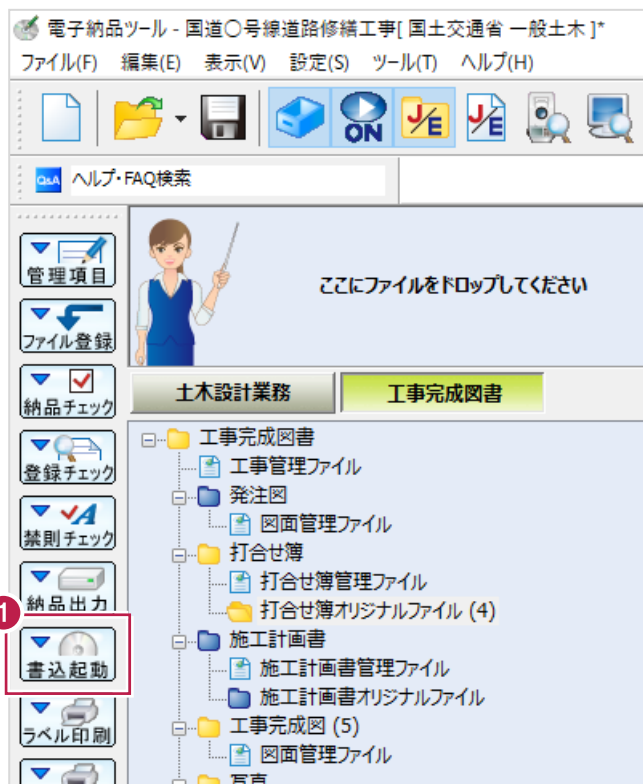


書き込みを開始する段階でこのメッセージが表示された場合は、
「すでに何らかのデータが書き込まれているメディアをパソコンにセットしてしまっている」もしくは
「何も書き込みはしていないが、『パソコン側で使用済と判断されてしまっている』可能性があります。
新品のメディアをパソコンにセットして、再度書き込み操作をおこなってください。

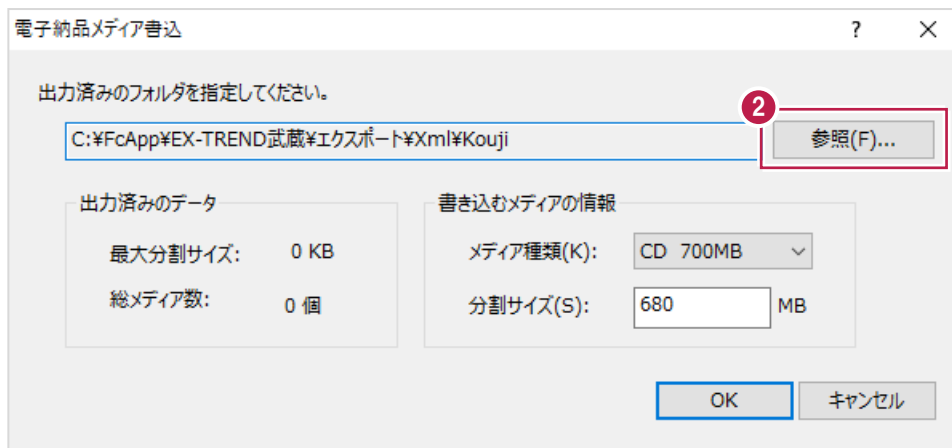
パソコン内に出力済みの成果データを、メディアに書き込むには

〔納品出力〕 ボタンからは『パソコン内への出力』が必ずおこなわれますが、『パソコン内に出力済みの成果データを、CDやDVDなどへのメディア書き込む』場合は〔書込起動〕を使用してください。操作方法は以下のとおりです。

- 1 画面左の〔書込起動〕をクリックします。



- 2 メディアへ書き込むデータを選択します。
〔参照〕をクリックします。



(次ページへ続きます)

- ③ 書き込むデータがあるフォルダを選択します。
ここで選択するのは
「INDEX_C.XML」ファイルや「MEET」フォルダ
の 1つ上のフォルダ です。

- ④ [OK] をクリックします。



- ⑤ CD や DVD など、書き込むメディアの種類を
[メディア種類] 欄で選択します。

- ⑥ [OK] をクリックします。

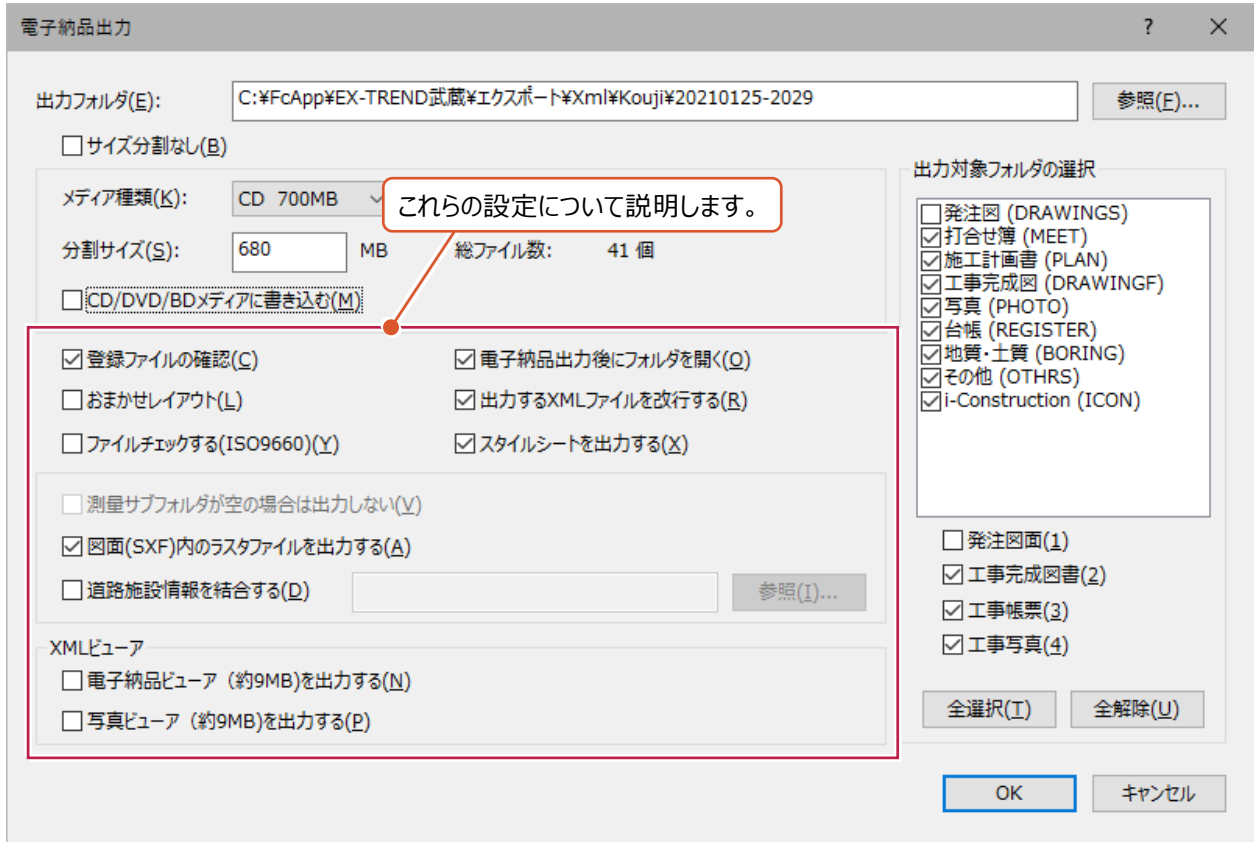


以降は、
「16-1 出力とメディアへの書き込み」の
「13」と同様に操作します。

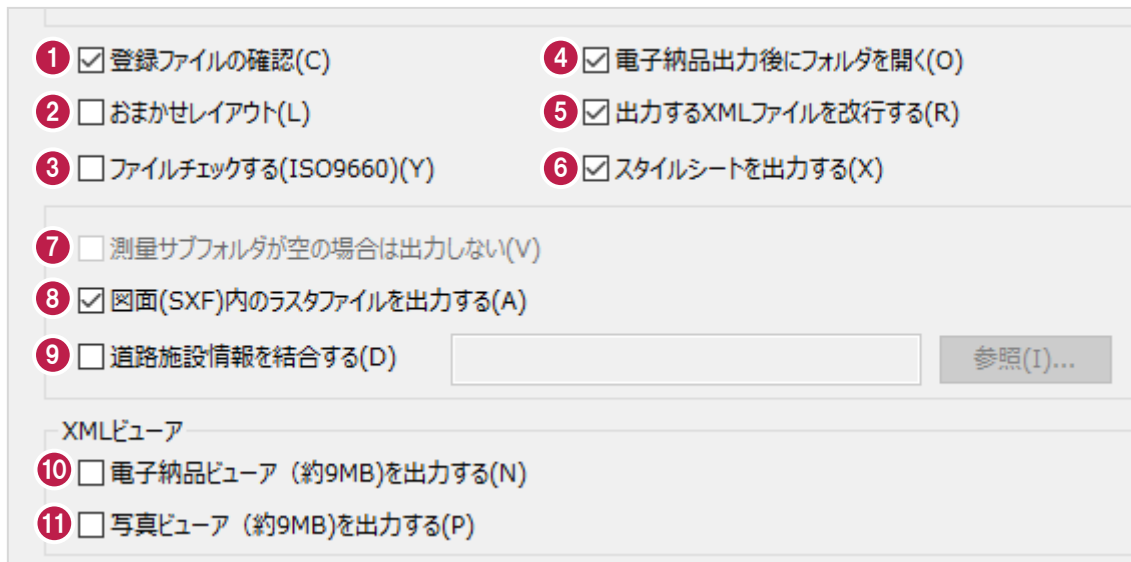


16-2 出力時の設定について

ここでは、[納品出力] のクリック後に表示される [電子納品出力] 画面の各設定について説明します。
(「16-1 出力とメディアへの書き込み」では触れていない設定について説明します。)



各設定の詳細は以下のとおりです。



1

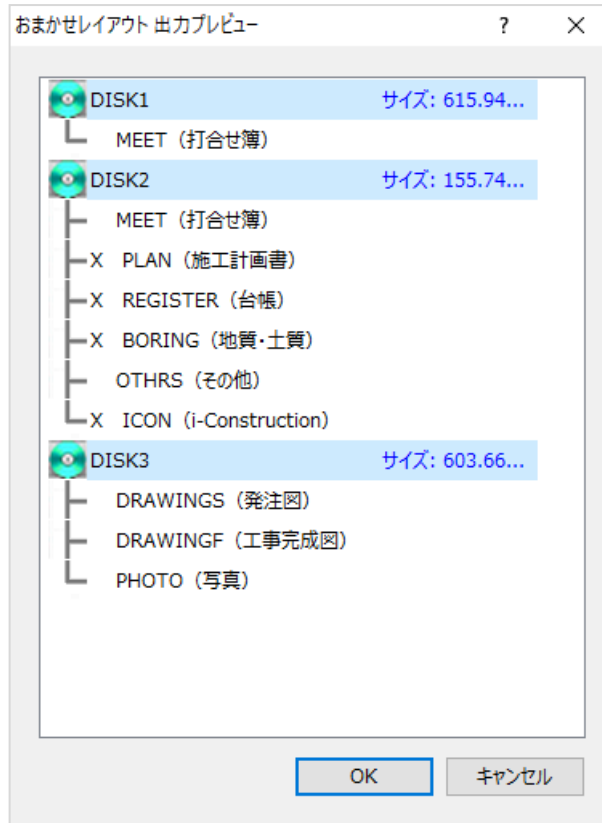
登録ファイルの確認

オンにすると、[OK] ボタンをクリック後に『リンク切れ』となっているファイルが無いか確認します。
『リンク切れ』については、「10-2 操作上の注意点」を確認してください。

2

おまかせレイアウト

オンにすると、データ容量が大きくメディアへの書き込みが複数枚に渡る場合に、書類・図面・写真をなるべく同じメディアにおさめるようにグループ分けします。グループ分けされた結果は、出力時に表示される以下の画面が表示されます。



オフにすると、先頭のデータから順にメディア書き込みをおこないます。

3

ファイルチェックする (ISO9660)

メディア種類の「CD」を選択した場合のみ設定できます。
オンにすると、成果データが「ISO9660形式に則っているかを確認します。
[OK] ボタンをクリック後に『リンク切れ』となっているファイルが無いか確認します。

※「ISO9660形式」とは

ファイル名やフォルダ名に使える文字

→ 数字、英大文字、アンダースコア “_” の37種類 (2バイト文字はエラー)

フォルダ名

→ 8文字、最大8階層まで

ファイル名

→ 8文字以下 + “.” + 拡張子3文字以下 (8.3形式、拡張子は必須)

4

電子納品出力後にフォルダを開く

オンにすると、電子納品データの出力後に出力先のフォルダがエクスプローラで開かれます。
(開かれたエクスプローラ上で何か操作が必要なわけではありません。)

5

出力するXMLファイルを改行する

オンにすると、出力する管理ファイル (XMLファイル) を、各タグで改行して出力します。
(成果出力後に直接XMLファイルを開くなどしない場合は、設定を変更する必要はありません。)

6

スタイルシートを出力する

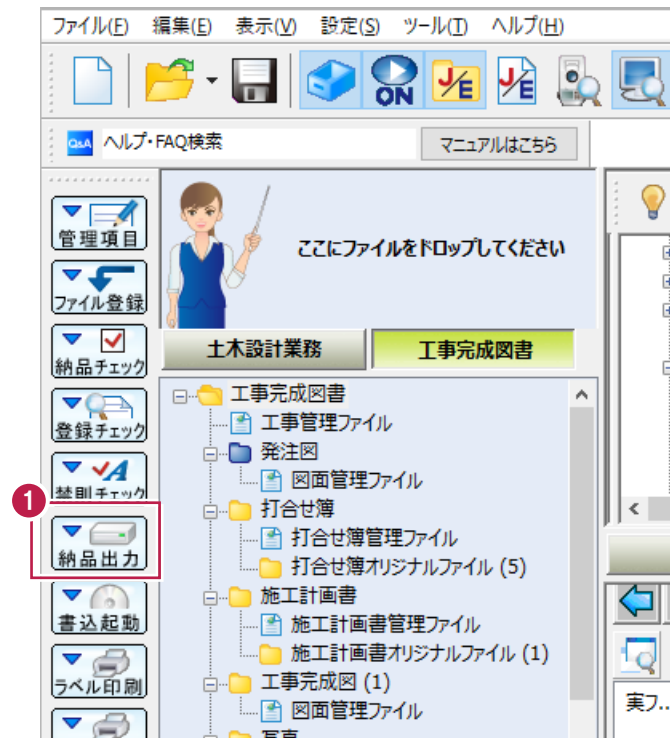
オンにすると、電子納品データの各フォルダにスタイルシート (「XSL」ファイル) を出力します。
(成果出力後に直接XMLファイルを開くなどしない場合は、設定を変更する必要はありません。)

7	<p>測量サブフォルダが空の場合は出力しない 工事完成図図書の電子納品をおこなうには不要の設定です。 (土木設計業務の電子納品をおこなう場合のみ設定ができます。)</p>
8	<p>図面 (SXF) 内のラスタファイルを出力する ラスタ (画像) が配置されているp21形式、sfc形式の図面を登録した場合に設定します。 オンにすると、ラスタファイルが出力されます。通常は「オン」に設定します。 (オフにすると、ラスタが抜けるため、図面を開いた場合に線や文字しか確認できなくなります。)</p>
9	<p>道路施設情報を結合する 作成済の「ORG999」(道路施設基本データ) を成果データに追加する場合にオンにします。 操作方法については「16-3 「ORG999」(道路施設基本データ) フォルダの追加」を 確認してください。</p>
10	<p>電子納品ビューアを出力する オンにすると、成果データに電子納品データのビューアソフト「クイックリーダー」を出力します。 「クイックリーダー」を使用すると、[電子納品ツール] プログラムのような専用プログラムが インストールされていないパソコンでも成果データを確認できます。 「クイックリーダー」はp21形式などの図面やPDF・Word形式の書類を確認することができます。 写真についてはツリー表示での閲覧ができないため、「写真ビューア」の利用をおすすめします。 ビューアの操作方法は「16-4電子納品ビューア・写真ビューアの使用法」を確認してください。</p>
11	<p>写真ビューアを出力する オンにすると、成果データに写真データ閲覧用ビューアソフト「写真ビューア」を出力します。 「写真ビューア」を使用すると、[写真管理] プログラムのようなツリー表示で 写真データを確認できます。 p21形式などの図面やPDF・Word形式の書類は「写真ビューア」では確認はできないため、 「クイックリーダー」を利用してください。 ビューアの操作方法は「16-4電子納品ビューア・写真ビューアの使用法」を確認してください。</p>

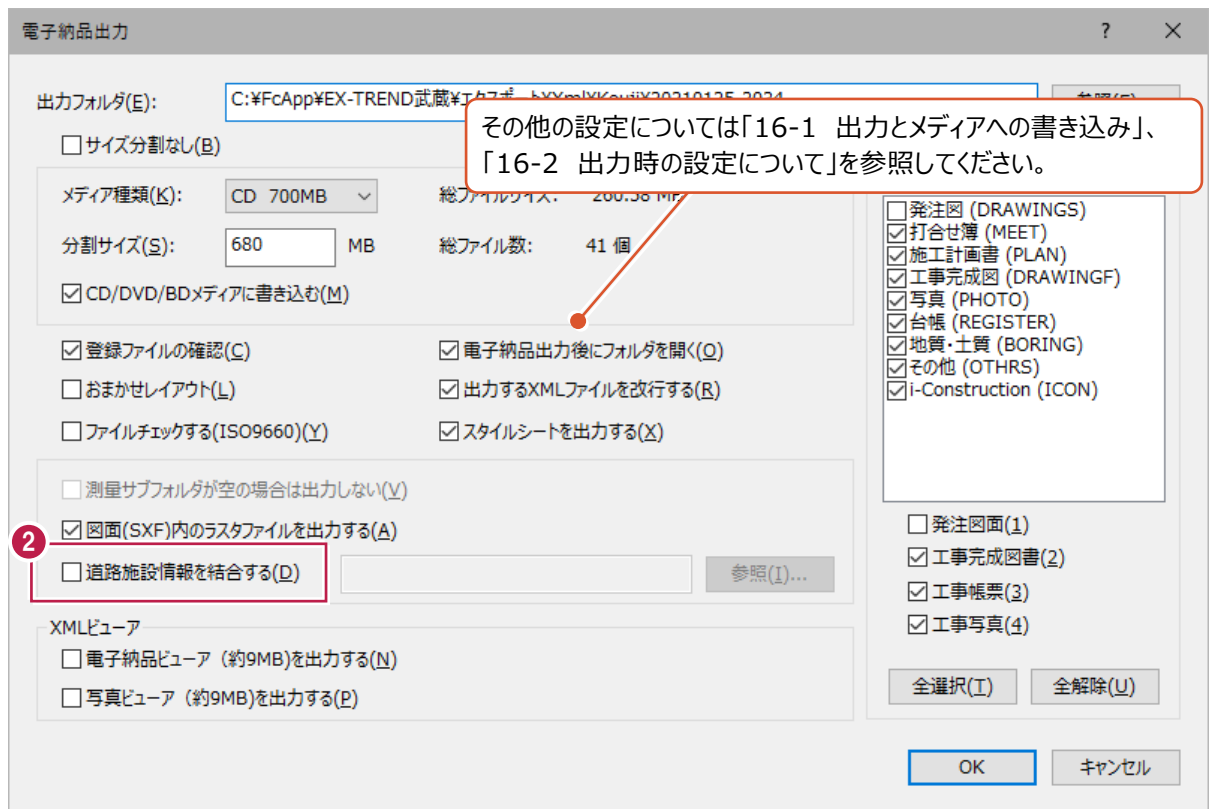
16-3 「ORG999」（道路施設基本データ）フォルダの追加

他の方が作成したり、ASPからダウンロードした「ORG999」（道路施設基本データ）フォルダの追加方法を説明します。
書類や図面とは異なり、「ORG999」フォルダの成果出力は、出力時に追加添付するイメージで操作します。

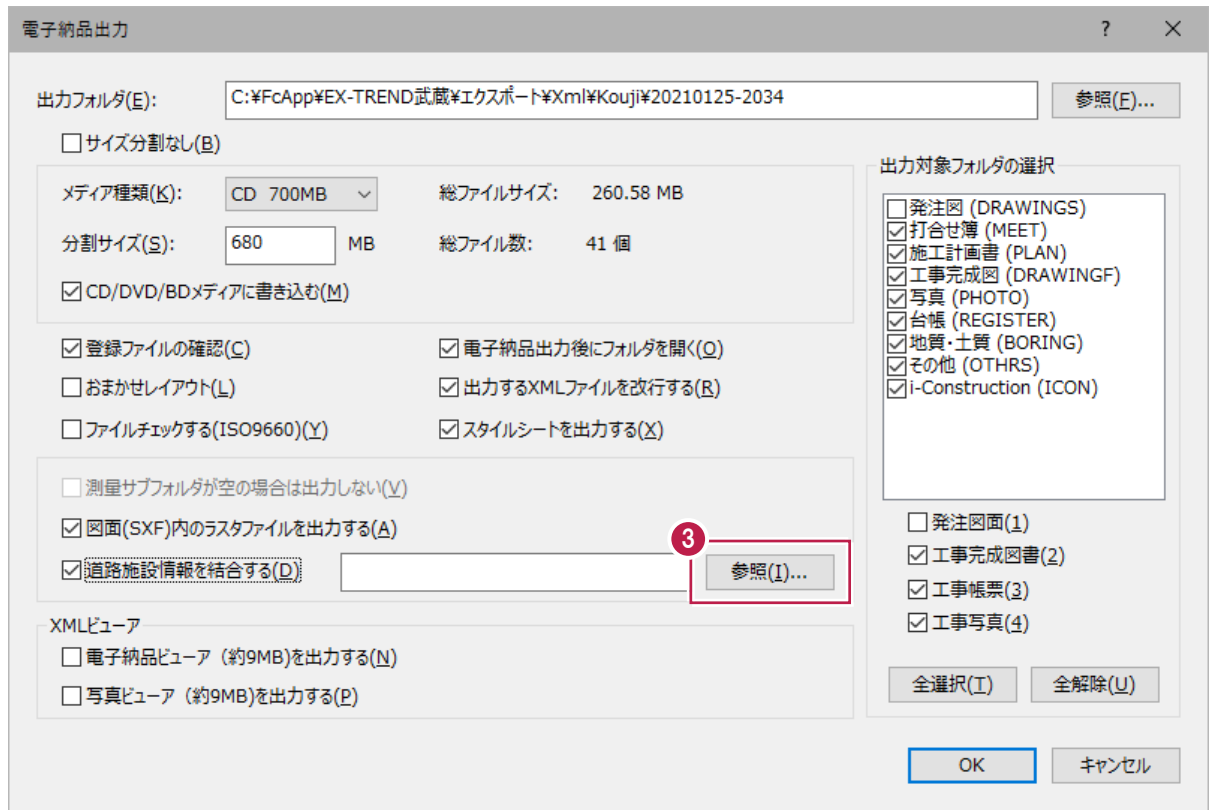
- 1 画面左の「納品出力」をクリックします。



- 2 「道路施設情報を結合する」のチェックボックスをオンにします。



- ③ [参照] をクリックします。

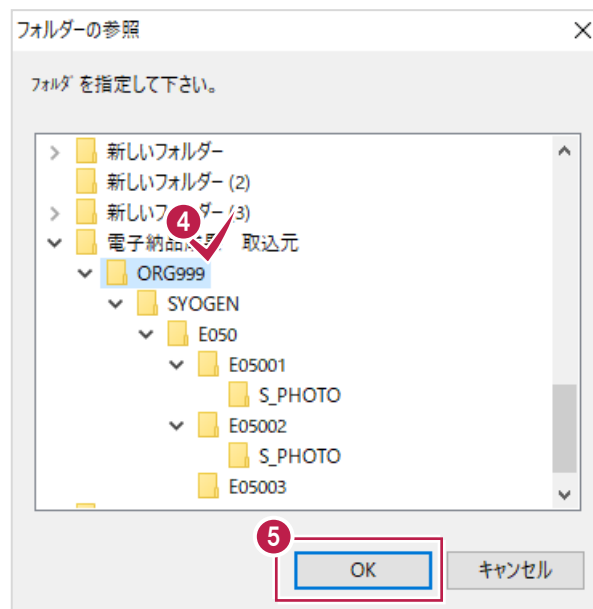


- ④ 次に、出力する「ORG999」フォルダを選択します。

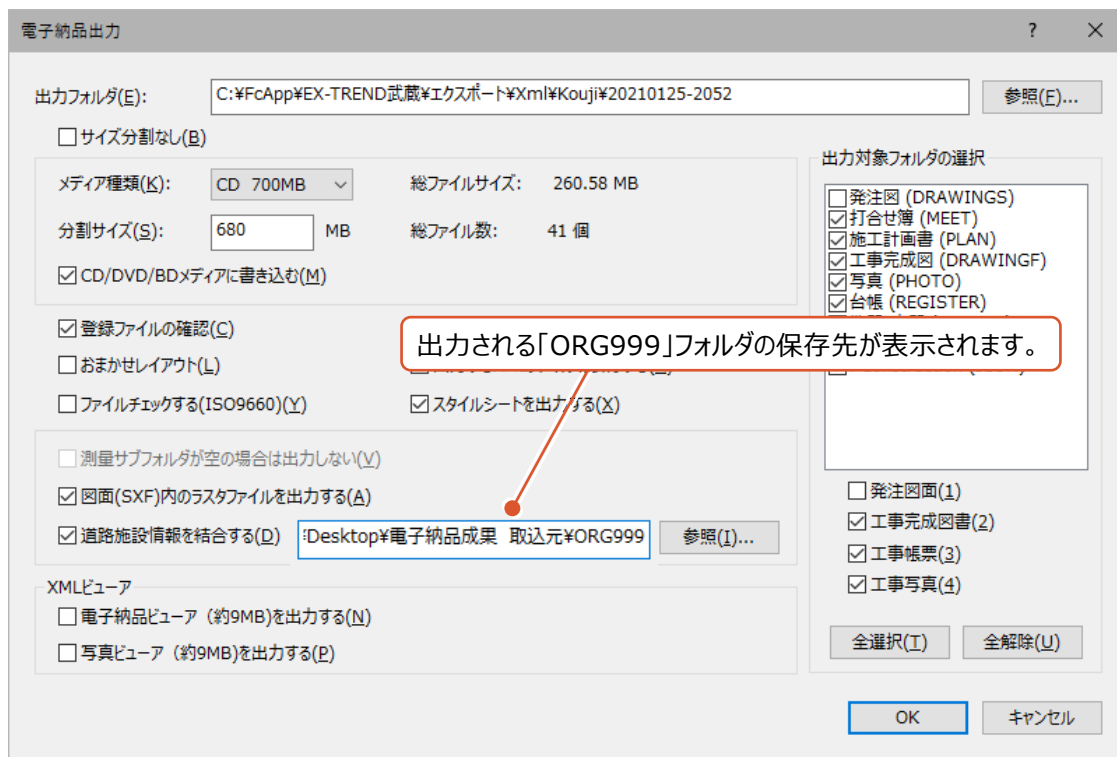
名称が「ORG999」のフォルダをクリックします。

- ⑤ [OK] をクリックします。

「ORG999」フォルダの追加作業はこれで終わりです。



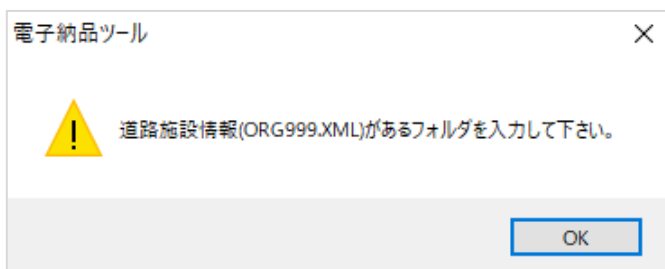
その後の操作、出力は「16-1 出力とメディアへの書き込み」と「16-2 出力時の設定について」を参照してください。



補足

「道路施設情報（ORG999）があるフォルダを入力してください。」のメッセージについて

[電子納品出力] 画面の [道路施設情報を結合する] をオンにした後、
[参照] から追加する「ORG999」フォルダの選択をせずに出力しようとすると、下記のメッセージが表示されます。



「ORG999」フォルダを追加する場合は [参照] からフォルダの選択をおこなってください。
追加しない場合は [道路施設情報を結合する] のチェックボックスをオフにしてください。

16-4 電子納品ビューア・写真ビューアの使用法

成果をメディアに書き込み終わった後、別のパソコンでビューアを使用する方法を説明します。

(1) 電子納品ビューアのみを書き込んだ場合

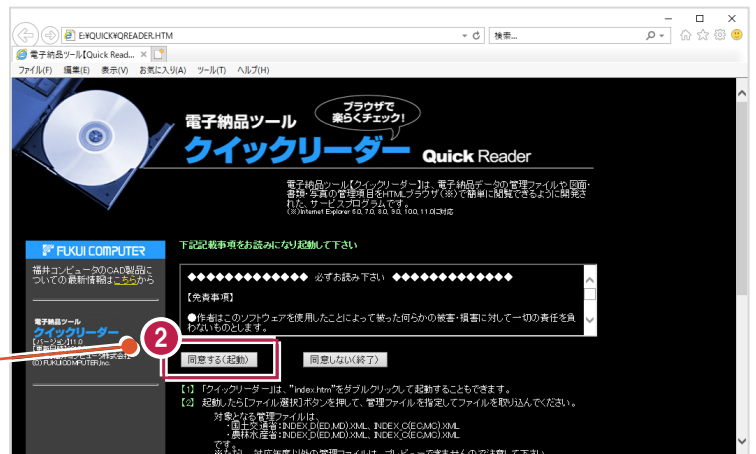
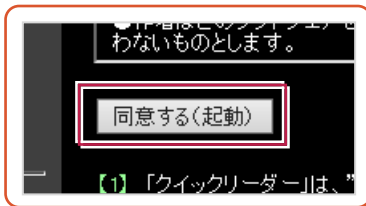
ここでは、CDをセットするところから書類や図面を確認するまでの方法を説明します。

パソコンやセキュリティ設定により、注意メッセージの表示タイミング・内容が異なる場合があります。

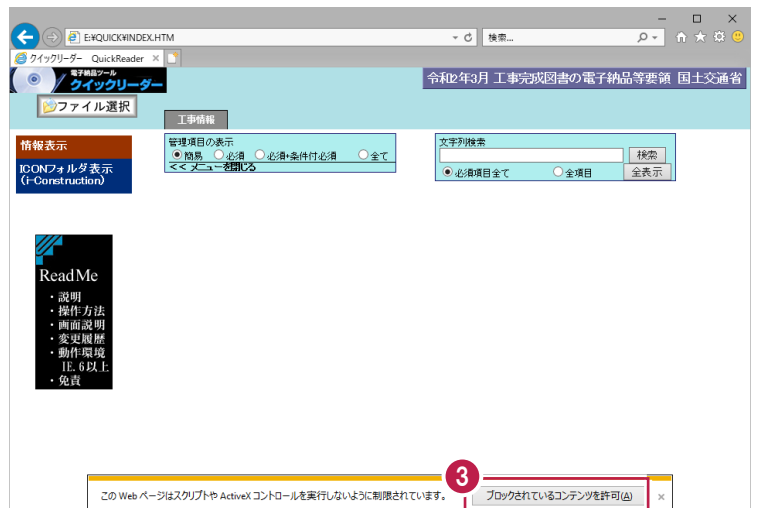
- 1 成果を書き込んだメディアをパソコンにセットします。



- 2 [必ずお読みください] 以下の文言を確認後画面中央の[同意する(起動)]をクリックします。



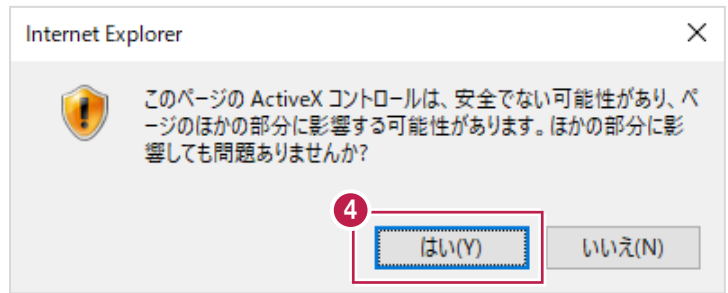
- 3 画面下に「この Web ページはスクリプトや～」と表示された場合は[ブロックされているコンテンツを許可]をクリックします。



この Web ページはスクリプトや ActiveX コントロールを実行しないように制限されています。

ブロックされているコンテンツを許可(A)

4 「はい」をクリックします。



5 確認するフォルダのタブをクリックします。

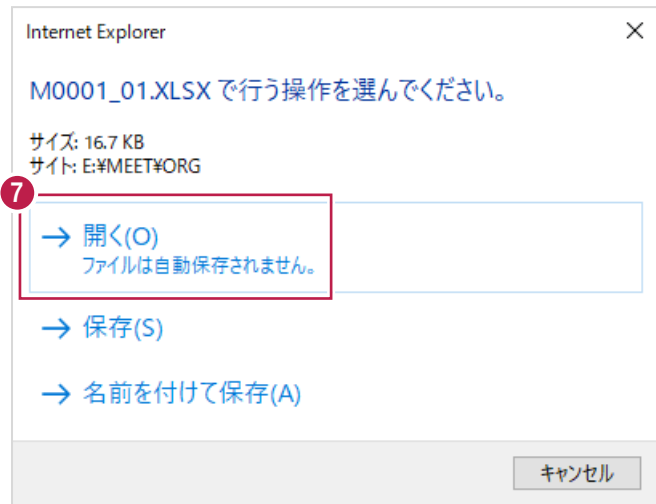


6 成果内容が表示されます。

各ファイルの内容を確認するには、一番右の列のファイル名をクリックします。

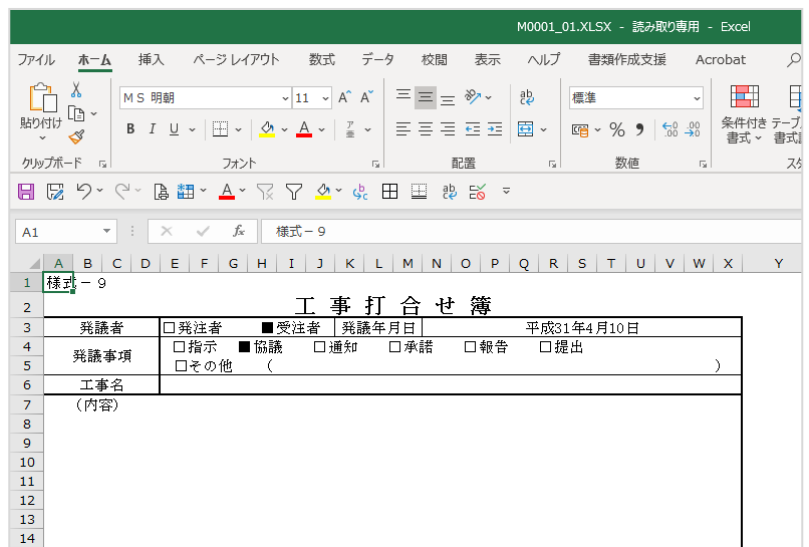


7 [開く] をクリックします。



各ファイル種類に応じたプログラムが起動し、
内容を確認できます。

右図は [EXCEL] プログラムが起動した例
です。



補足

ビューアが自動起動しない場合について

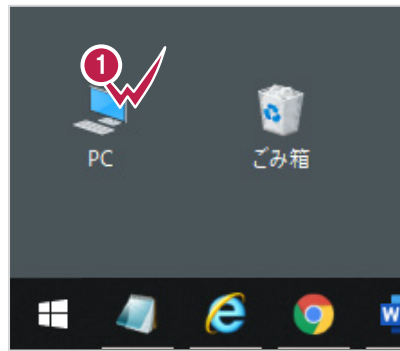
パソコンのセキュリティ設定などにより、メディアをセットしても画面が自動表示しない場合があります。
メディアのセット直後に画面が表示される場合は、以下のように操作してください。
([rundll32.exe] を実行してください。)



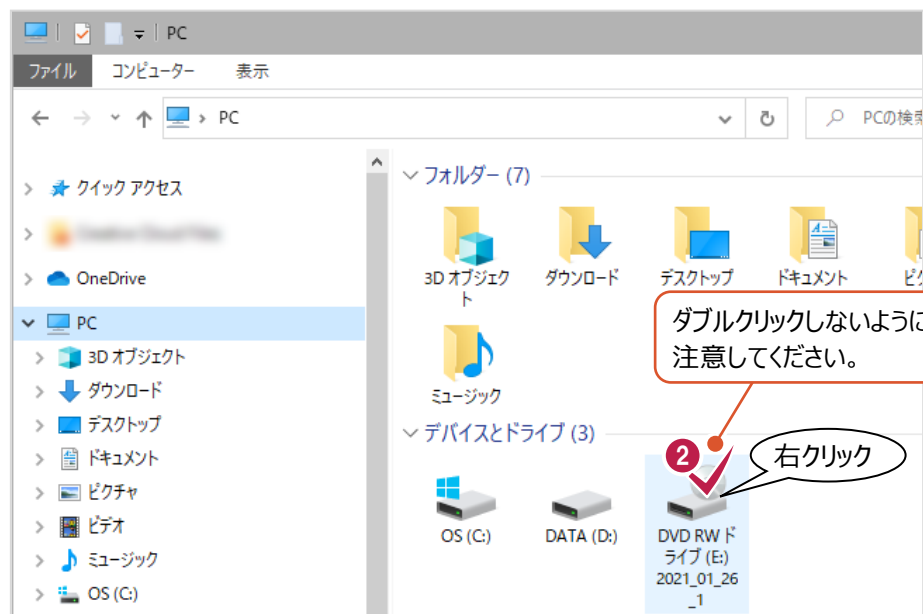
(次ページへ続きます)

メディアをセット後、前ページの画面など表示されず、何も反応が無いなどの場合は以下の操作をおこなってください。
(ビューアを手動で起動する方法です。)

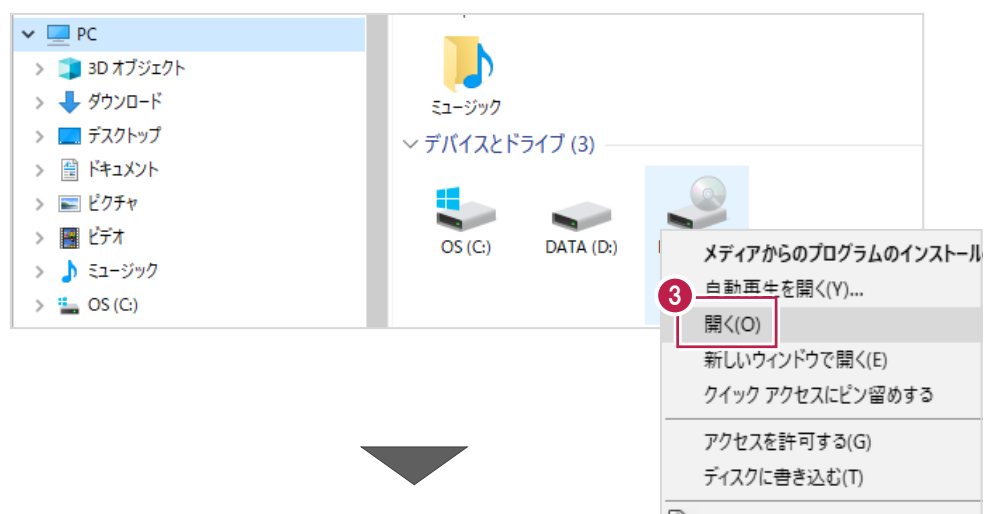
- 1 デスクトップの「PC」のアイコンをダブルクリックなどして、エクスプローラを開きます。



- 2 CD/DVDドライブを右クリックします。

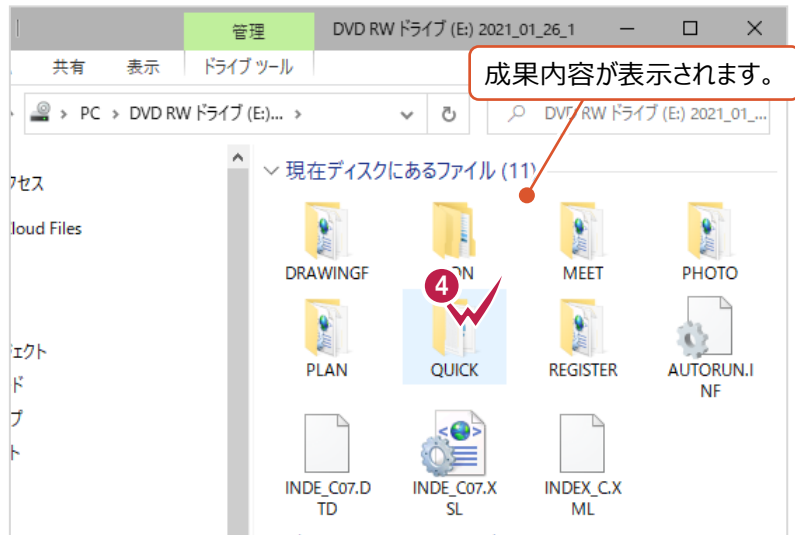


- 3 表示されるメニューの「開く」をクリックします。



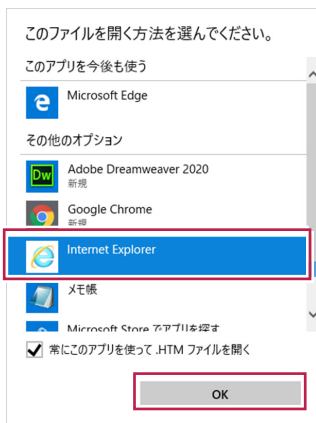
(次ページへ続きます)

- 4 名称が「QUICK」のフォルダをダブルクリックして開きます。

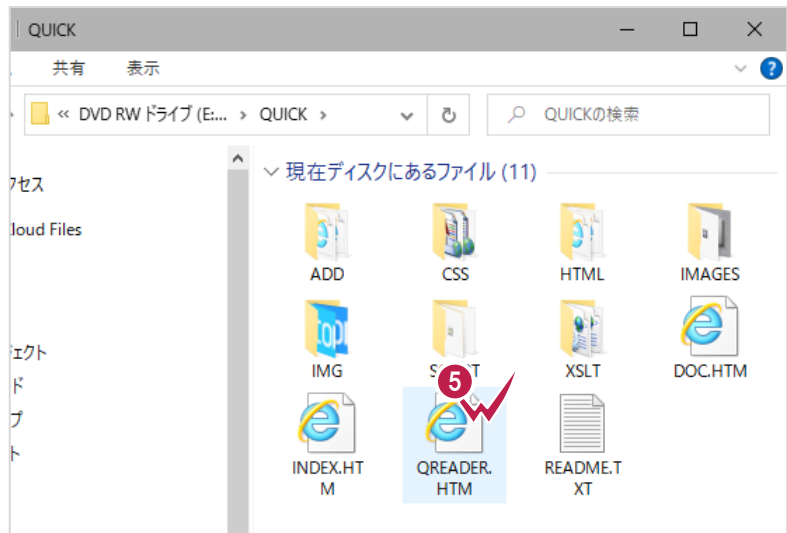


- 5 名称が「QREADER.HTM」のファイルをダブルクリックします。

以下のようなメッセージが表示された場合は、Internet Explorerなどを選択してください。



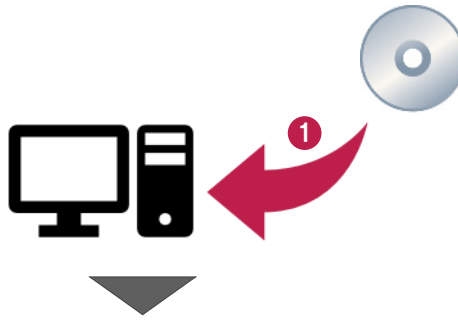
ビューアが起動します。



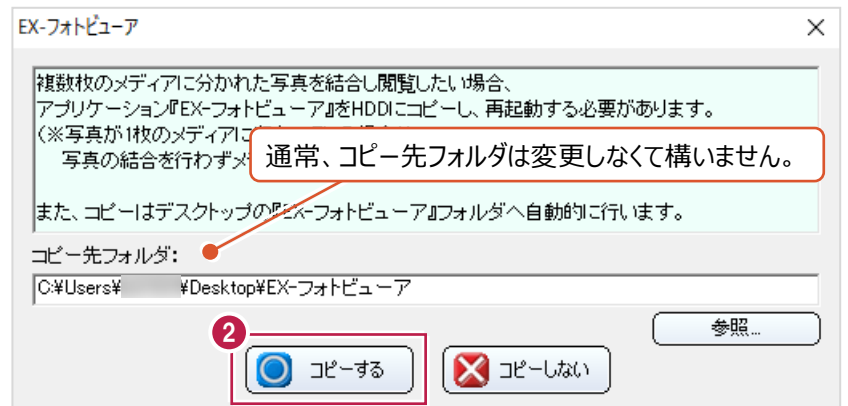
■ (2) 写真ビューアのみを書き込んだ場合

ここでは、CDをセットするところから写真データを確認するまでの方法を説明します。
パソコンによって表示される画面は異なります。

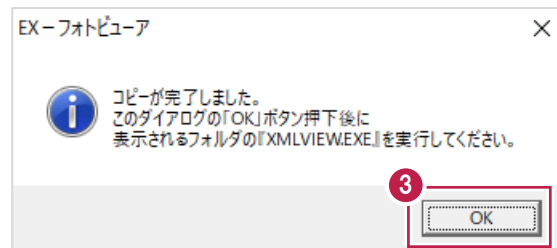
- 1 成果を書き込んだメディアをパソコンにセットします。



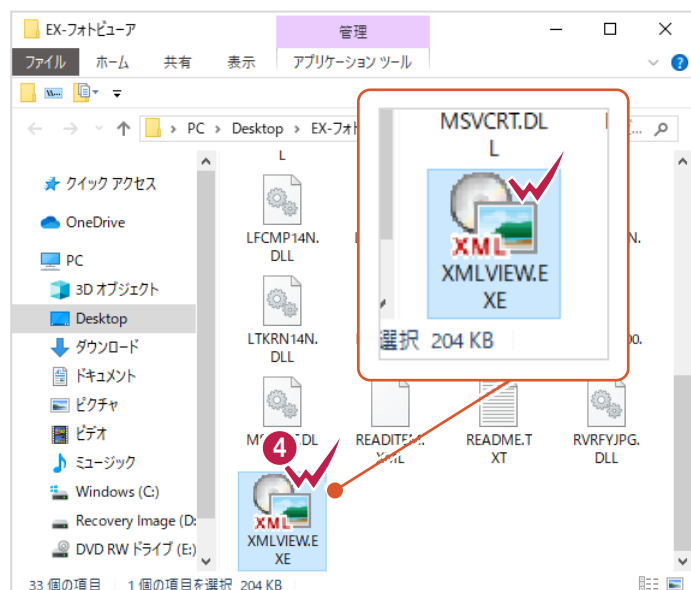
- 2 写真ビューアのプログラムを一時的にパソコン内にコピーするかを選択します。どちらを選択しても写真は閲覧できます。ここでは【コピーする】をクリックします。



- 3 【OK】をクリックします。

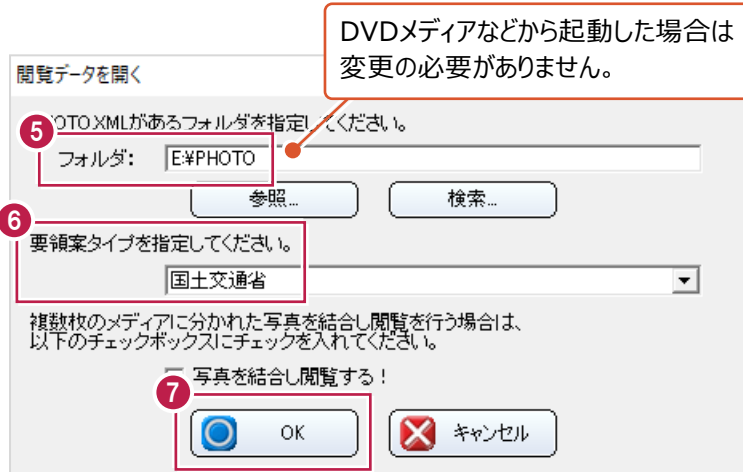


- 4 ファイル名が「XMLVIEW.EXE」のファイルをダブルクリックします。
(ほとんどの場合、一番下に表示されます。)



- 5 [フォルダ] 欄に写真データフォルダを設定します。
- 6 電子納品成果が作成された要領案を選択します。
- 7 [OK] をクリックします。

写真データが表示されます。
 [写真管理] プログラムと同じイメージで
 操作・確認ができます。



補足

ビューアが自動起動しない場合について

パソコンのセキュリティ設定などにより、メディアをセットしても画面が自動表示しない場合があります。
 メディアのセット直後に画面が表示される場合は、以下のように操作してください。
 ([XMLVIEW.EXE] を実行してください。)



DVD RW ドライブ (E:) 2021_0...

このディスク に対して行う操作を選んでください。

メディアからのプログラムのインストール/実行

XMLVIEW.EXE の実行
 発行元は指定されていません

その他の選択肢

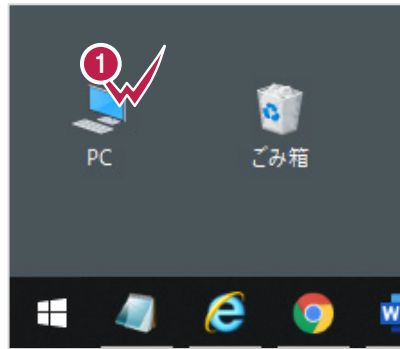
フォルダを開いてファイルを表示
 エクスプローラー

何もしない

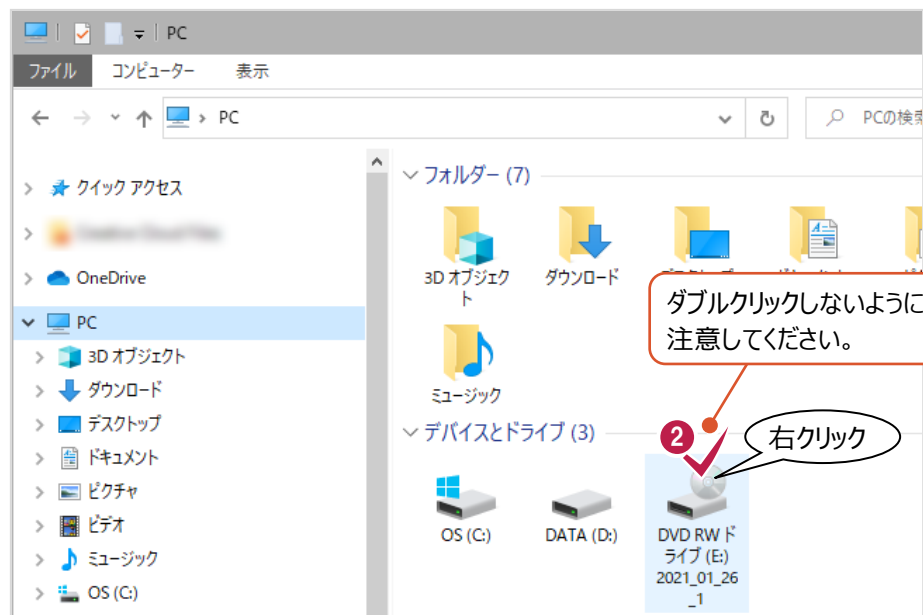
(次ページへ続きます)

メディアをセット後、前ページの画面など表示されず、何も反応が無いなどの場合は以下の操作をおこなってください。
(ビューアを手動で起動する方法です。)

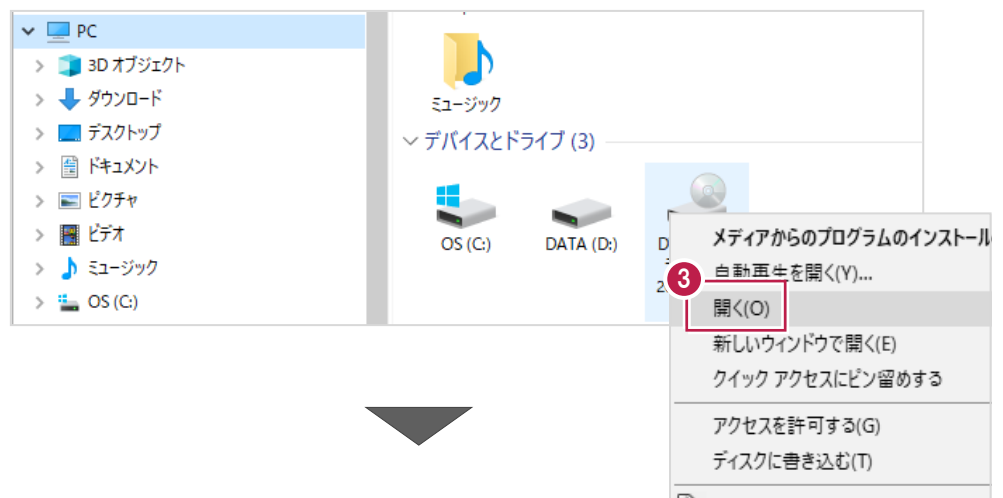
- 1 デスクトップの「PC」のアイコンをダブルクリックなどして、エクスプローラを開きます。



- 2 CD/DVD ドライブを右クリックします。

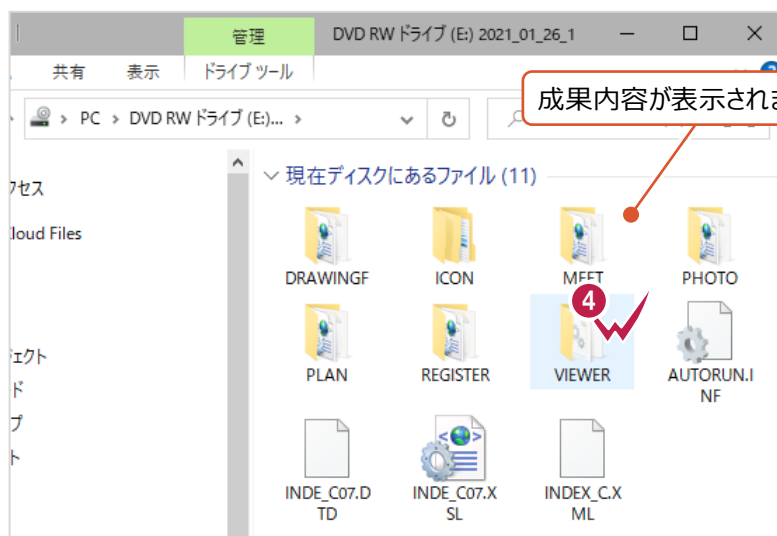


- 3 表示されるメニューの「開く」をクリックします。

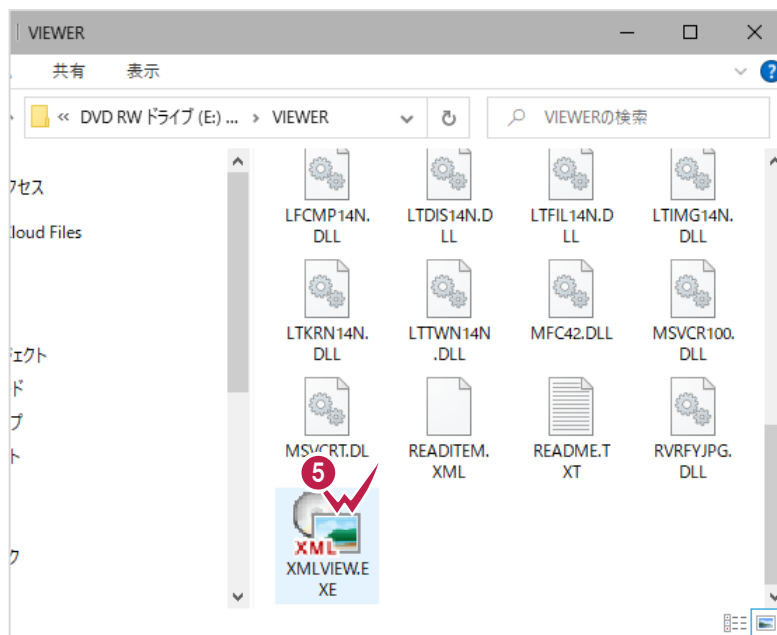


(次ページへ続きます)

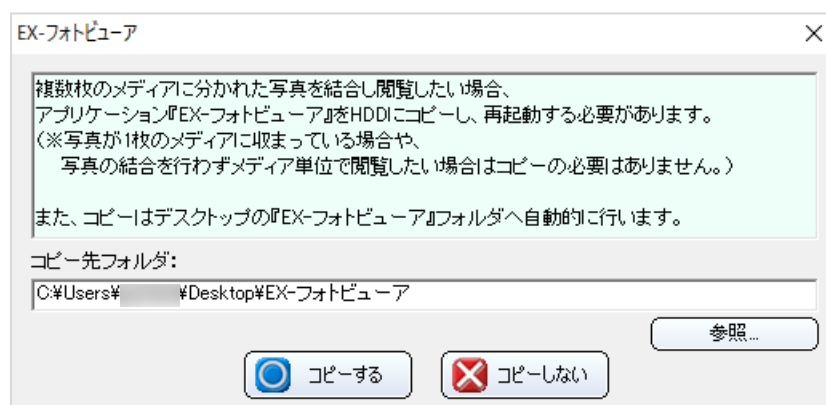
- 4 名称が「VIEWER」のフォルダをダブルクリックして開きます。



- 5 名称が「XMLVIEW.EXE」のファイルをダブルクリックします。



ビューアが起動します。



補足

「指定したフォルダ内に PHOTO.XML ファイルが存在しません。
再度、フォルダの指定を行ってください。」のメッセージが表示された場合は

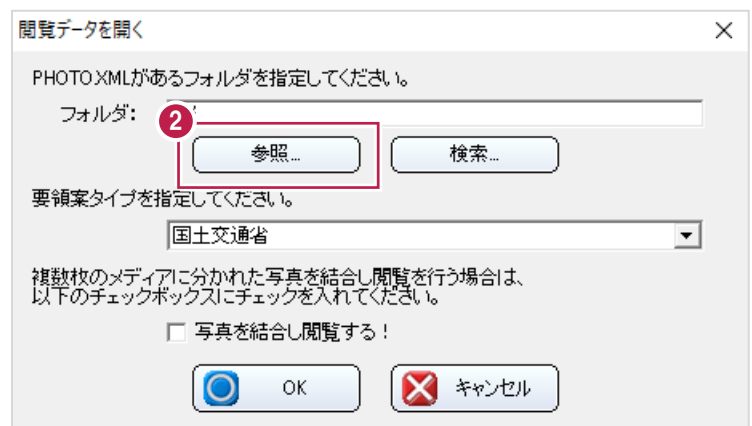
閲覧する写真データのフォルダがうまく選択できていない場合に表示されます。

以下の操作をおこない、写真データが格納されている「PHOTO」フォルダを選択しなおしてください。

① [OK] をクリックします。

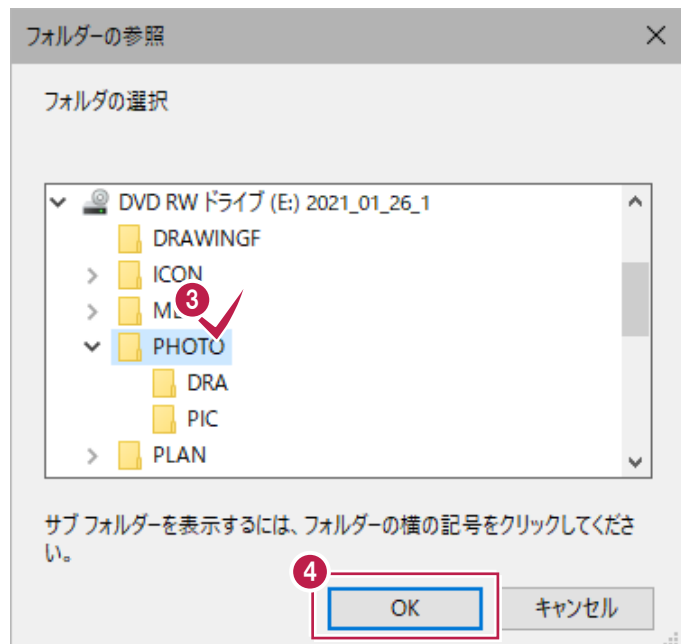


② [参照] をクリックします。



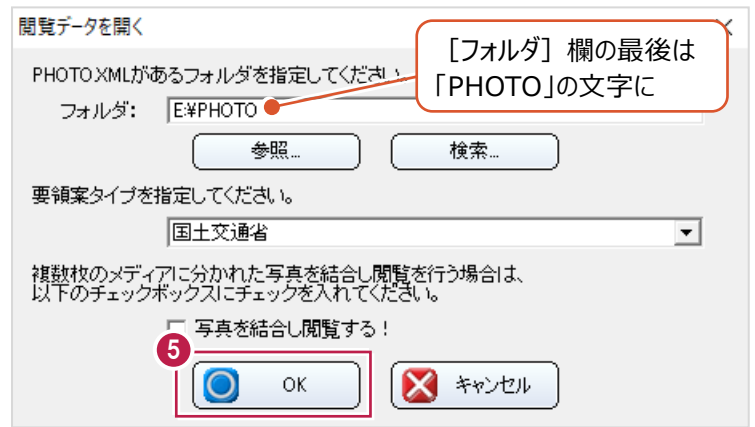
③ 電子納品成果のあるフォルダから、
名称が「PHOTO」のフォルダを選択します。

④ [OK] をクリックします。



(次ページへ続きます)

5 [OK] をクリックします。



写真ビューアが起動し、
写真データが閲覧できます。



■ (3) 電子納品ビューア・写真ビューアの両方を書き込んだ場合

ビューア起動までや、写真以外のデータの確認は、

「■ (1) 電子納品ビューアのみを書き込んだ場合」の操作をおこなってください。

写真データの確認は、[写真] タブをクリック後に [EX-フォトビューア] をクリックしてください。

令和2年3月 工事完成図書の電子納品等要領 国

ファイル選択

工事情報 施工計画書 打合せ簿 **写真** 工事完成図 台帳

管理項目の表示
 簡易 必須 必須+条件付必須 全て
 << メニューを開じる

文字列検索
 検索
 必須項目全て 全項目 全表示

■写真区分 (R2.03)

全体【6】

- 着事前及び完成写真【0】
- 施工状況写真【0】
- 安全管理写真【0】
- 使用材料写真【0】
- 品質管理写真【0】
- 出来形管理写真【0】
- 災害写真【0】
- 事故写真【0】
- その他【0】

サムネイル: ON ⇄ OFF

EX-フォトビューア

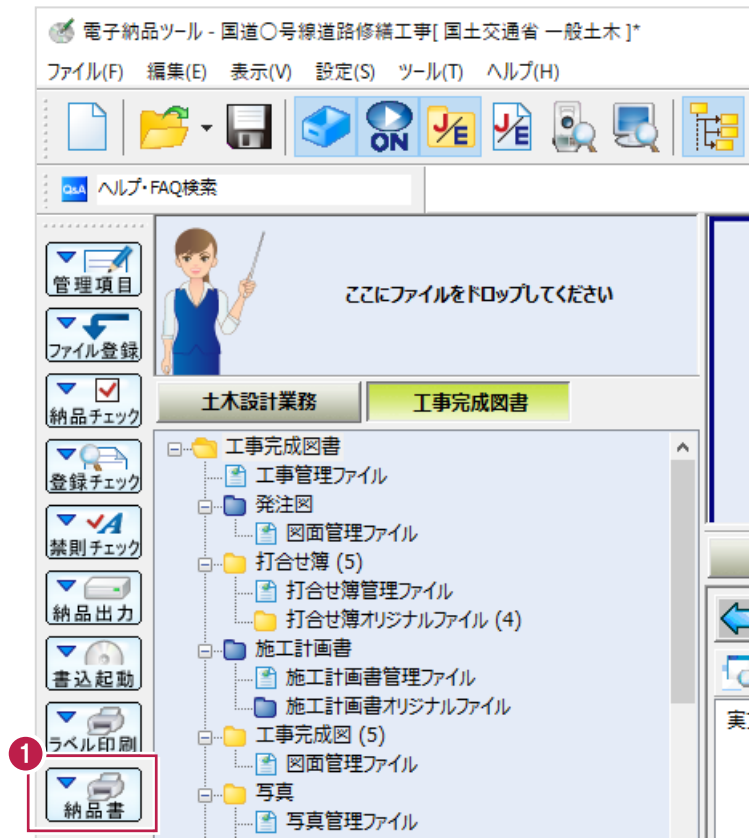
共通項目(ここをクリックすると表示・非表示が切り替わります)

分類	項目名	データ	必要度					
基礎情報	写真フォルダ名	PHOTO/PIG	必須					
	適用要領基準	土木202003-01	必須					
×写真ファイル情報		撮影工程区分	付加情報					
シリアル番号	写真ファイル名	写真大分類	写真区分	工程	種別	細別	写真タイトル	参考図ファイル名
1	P0000001.JPG	その他	未記入	未記入	未記入	未記入	0011	
2	P0000002.JPG	その他	未記入	未記入	未記入	未記入	0003	
3	P0000003.JPG	その他	未記入	未記入	未記入	未記入	0007	
4	P0000004.JPG	その他	未記入	未記入	未記入	未記入	0008	
5	P0000005.JPG	その他	未記入	未記入	未記入	未記入	002	
6	P0000006.JPG	その他	未記入	未記入	未記入	未記入	005	

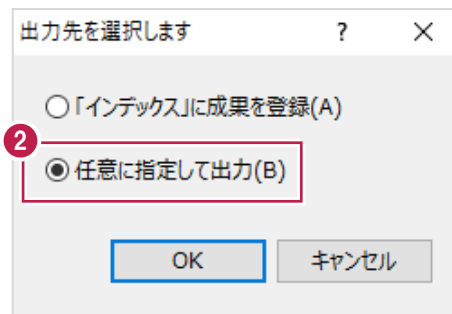
16-5 (電子媒体) 納品書の作成

成果データを書き込んだメディアとは別に、納品書用紙が必要な場合は【納品書】ボタンから作成ができます。ここではデスクトップ上にEXCEL形式の納品書を出力する方法を説明します。

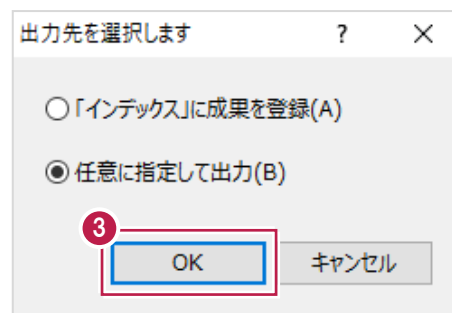
① 画面左の【納品書】をクリックします。



② 【任意に指定して出力】のチェックボックスをオンにします。

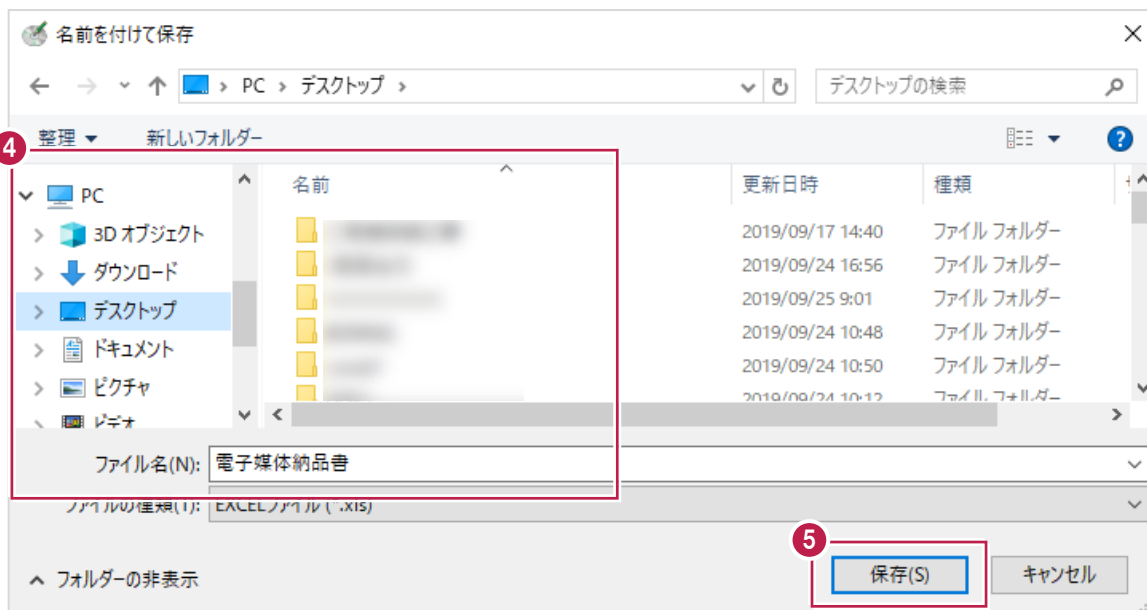


③ 【OK】をクリックします。



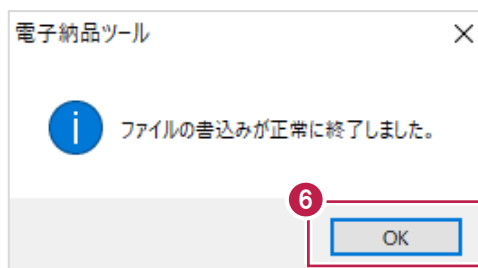
④ 納品書の出力先とファイル名を設定します。

⑤ [保存] をクリックします。

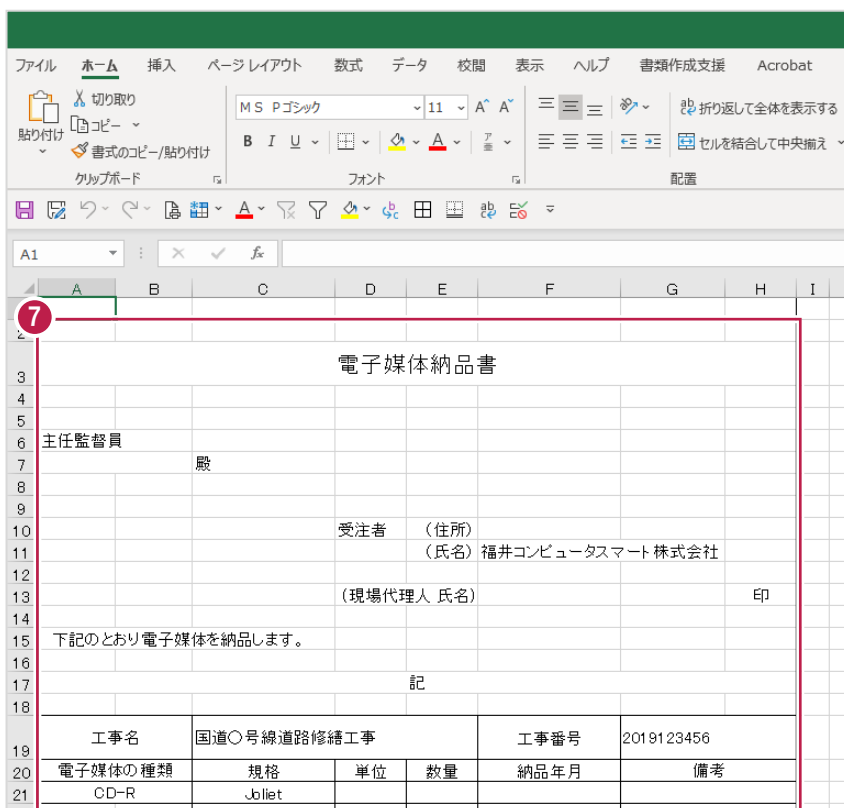


⑥ [OK] をクリックします。

納品書が EXCEL 形式で出力され、
[EXCEL] プログラムが起動します。



⑦ 必要なセルに文字を入力後、
押印などして提出します。



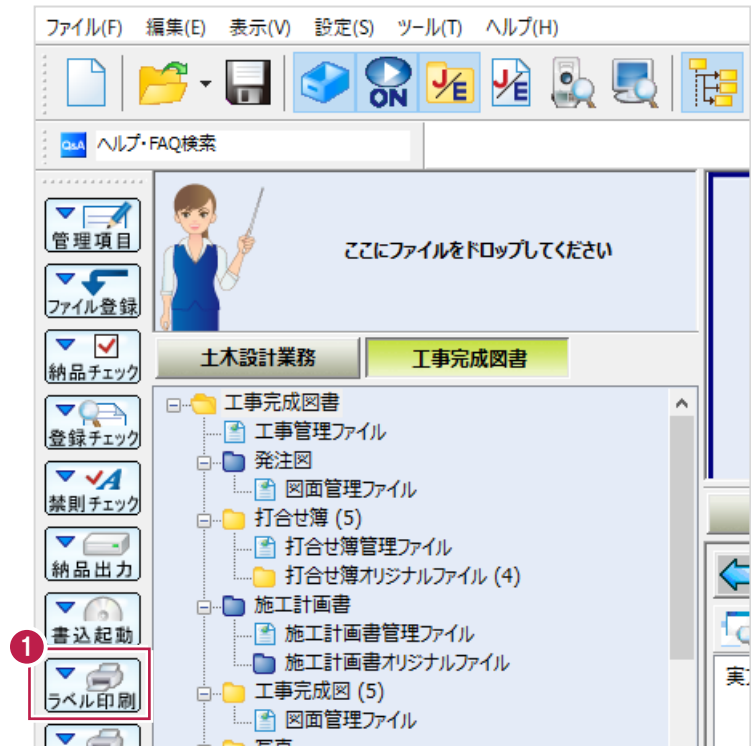
16-6 メディアのラベル印刷について

電子納品のガイドライン・要領の多くには提出するメディアのラベルに工事名や工事番号などを明記するよう記載があります。

〔電子納品ツール〕プログラムでは以下の操作からEXCEL形式の印刷イメージを作成できます。

ここでは、デスクトップに印刷イメージを出力する操作を説明します。

① 画面左の〔ラベル印刷〕をクリックします。

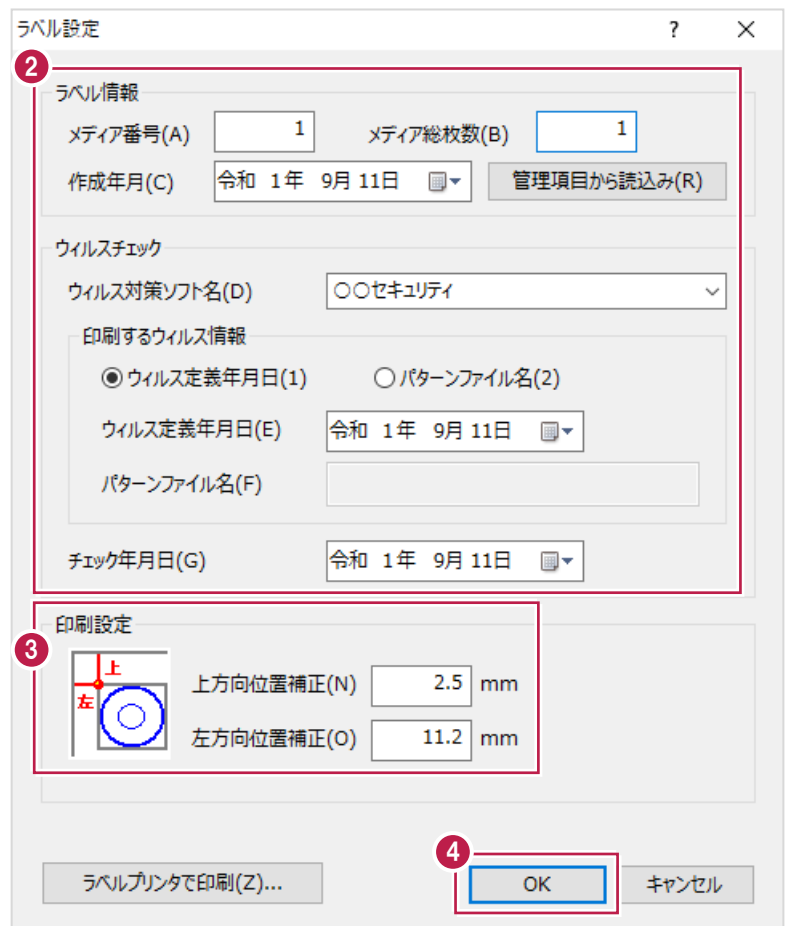


② ラベルに印字する内容を入力・設定します。

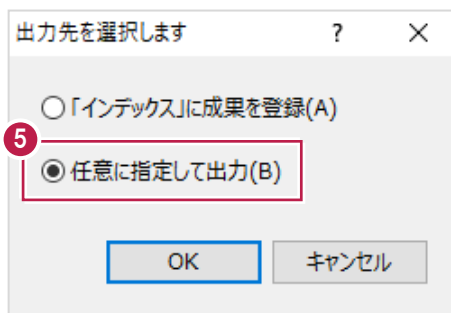
③ 〔印刷設定〕欄の補正数値を入力します。

この値は、メディアに対する印字位置の調整をおこなうために入力します。

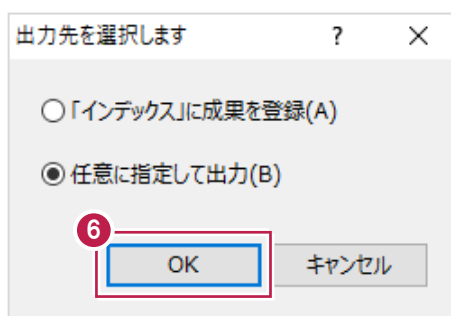
④ 〔OK〕をクリックします。



- 5 [任意に指定して出力] のチェックボックスをオンにします。

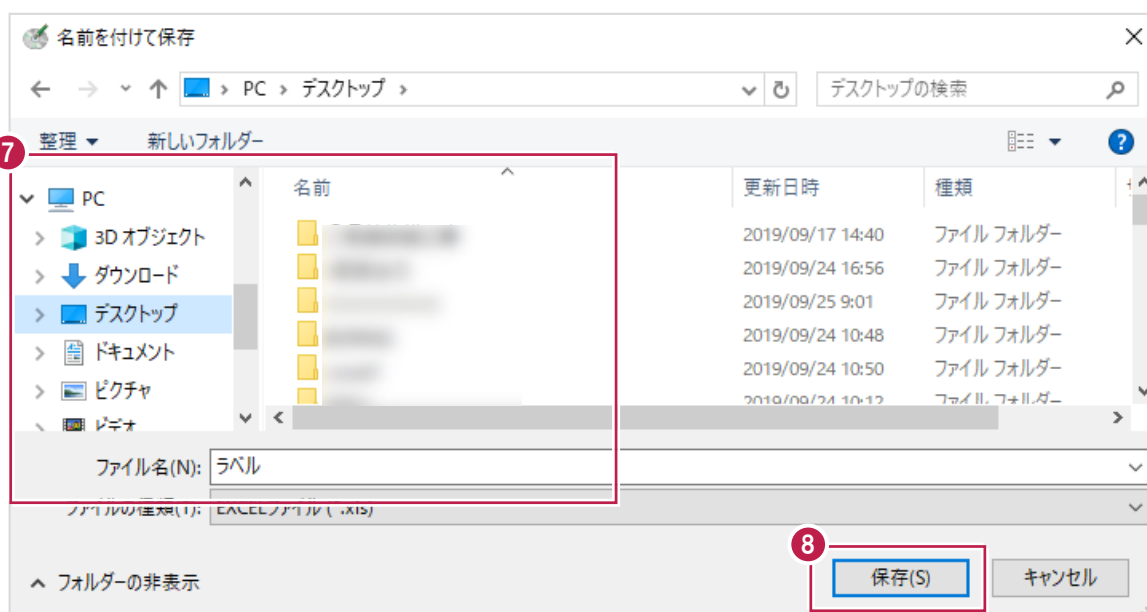


- 6 [OK] をクリックします。

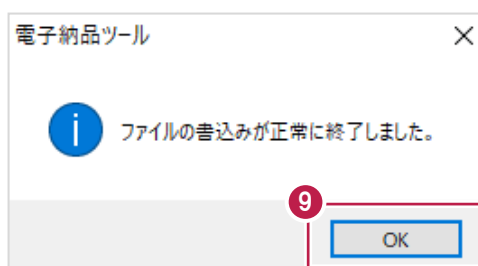


- 7 印刷イメージの出力先とファイル名を設定します。

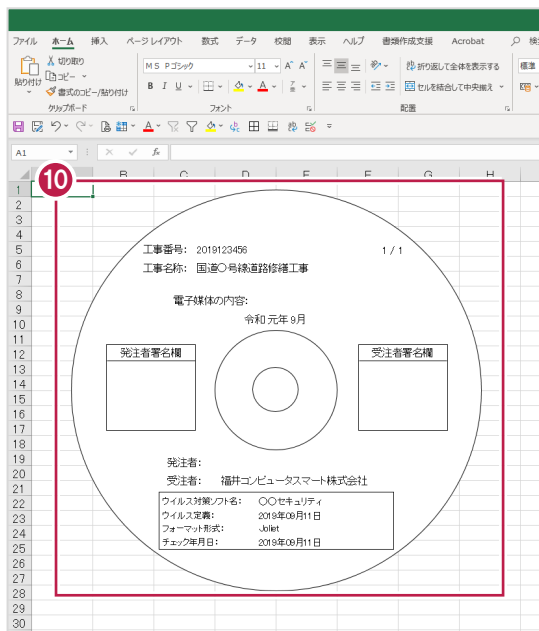
- 8 [保存] をクリックします。



- 9 [OK] をクリックします。



- 10 必要な枠に文字を入力をおこない、お持ちのラベルプリンタなどで印刷します。



補足

ラベルプリンタでの操作について

〔電子納品ツール〕プログラムから出力した印刷イメージが読み込みできるかどうかや、ラベルプリンタ側の操作はメーカー・型番などによって異なるため、製造元の資料を確認してください。プリンタ機種によっては〔電子納品ツール〕プログラムから出力した印刷イメージを使用せずにラベルプリンタに付属の印刷ソフトで印刷イメージの作成・印刷したほうが容易な場合があります。

補足

〔ラベルプリンタで印刷〕ボタンについて

このボタンからCD・DVD面に直接ラベル印刷するには、カシオ計算機株式会社製のディスクタイトルプリンタ「CW-100」が必要です。（「CW-100」は生産が完了しています。）また、タイトル印刷用ソフト「DISK DESIGNER for CALS/EC」が必要です。

